

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	東海大学(台湾)	
留学期間	2024年2月15日 ～ 2025年1月17日	
所属学部・学科	総合文化学部・社会文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3年次	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	A201 初級クラス
帰国時	B103 中級クラス

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？

所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

留学開始時は挨拶と簡単な単語を使ってしか話すことができませんでしたが、自分の意見を以前よりも言えるようになり、友人とのコミュニケーションも問題なく取れるので、この1年間でだいぶ伸びたと思います。

語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？

また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。

中国語の向上以外にも、現地の学生や人々と人間関係を築くことも目的としていました。そのために SNS を通して大学の部活動に入部し、そこから多くの人とつながりを持つことができました。また他の外国人留学生とも仲を深めるために語学学校が開催するフィールドトリップにも参加し、授業以外でも交流するようしていました。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

日本語以外の言語でコミュニケーションを取ることの楽しさを覚えたことが今回の留学の大きな成果だと思っています。語学力をさらに伸ばすために継続して学習し検定を受けたり、仕事に就いても活かすことができるようにしたいと思っています。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	先生から事前に台湾の歴史について学んでいたことで、授業内で出る台湾の歴史の話についていくことができました。また、簡単な文法も復習していたので、到着して間もないころ困ったことがあったときに思い出して使っていました。
--------------------------	--

●ビザについて

ビザの種類	居留ビザ
申請から発行までかかった期間	14日程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や 健康診断書の有無など	健康診断をする際には、書類に書いてある項目をしっかりと目を通し、そして病院に確認してから受けるようにしてください。でないと手違いで必要以上にお金を払うことになるので気を付けてください。特に気を付けるのが梅毒の検査と麻疹・風疹の予防接種です。梅毒の検査は普通の血液検査と違うので、しっかりと病院に確認してください。麻疹・風疹の予防接種は、病院側は連絡を受けてからワクチンを注文するので届くまで時間がかかるので早めに連絡をすることをおすすめします(私の場合は2週間ほど待ちました)。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物はすべてリュックとキャリーケースに詰めて持って行ったので、発送はしませんでした。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港から桃園空港まで直行便の約1時間で台湾に着きました。空港に到着してからは他の留学生が集まるまで2～3時間ほど待機し、空港から大学までは大学が用意したバスに乗って3時間ほどで東海大学に到着しました。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
約1か月前に出迎えサービスのフォームがメールかグループLINEに送られてくるので、そのフォームから申請します。申請の際にはフライト情報の添付が必要になります。
その他出発前に準備しておくべきこと
必要な電化製品は持っておいたほうがいいと思います。現地に着いてから購入するとかなりの出費になるので、持参がおすすめです。また、体調のために医薬品もひとつお用意しておくことを強くおすすめします。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

到着してから翌日にオリエンテーションが開かれました。
内容としては、学校紹介、履修登録方法、居留証についてなどの説明でした。

参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など

オリエンテーションは上記のもので 1 回だけでした。

その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など

Sim カードの申請、居留証の申請、学生証(悠遊卡)に台中市 10 km 以内の移動運賃無料バス申請

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について

留学生同士、および現地学生との交流について

日本人留学生は各クラスに 1, 2 人はいる印象です。私のクラスは毎回日本人が比較的多いクラスにいました。他国の留学生はというとアジア(特にインドネシア、ベトナム)が多く、ヨーロッパなどからはあまり多くありませんでした。留学生同士はクラスが違っていても休憩時間にロビーで会って話したり、授業終わりに一緒にお昼ご飯を食べにいくなどして交流していました。

現地学生とは小さなスポーツ大会に日本人一人で参加したり、日本語学科が主催するイベントに参加したりするなどして知り合い交流をしていきました。

大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）

PC の有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について

自習をする際には図書館を利用していました。図書館の地下には自習室があり、とても静かなので集中して勉強したい人にとっては最適な空間だと思います。あちこちに飲水機という水を入れることができる機械が設置されているので、水筒の所持をおすすめします。PC 教室はあるらしいのですが私は使ったことがないのでよくわかりませんが、申請をすれば利用可能だと思います。私はほとんどノートに書いてメモをとっていたので PC はあまり使っていませんが、慣れているほうでいいと思います。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。

台湾は比較的治安はいい方だと思います。大学内も悪い印象はありません。
ただ、車道と歩道の距離が近いので、バイクや車には非常に気を付けて歩いてください。特に信号のない横断歩道はしっかり安全を確認してから渡るようにしてください。

保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。

台湾に住み始めて半年が経過すると現地で健康保険の加入ができるのですが、沖国で出発前に加入していたので入りませんでした。
もし現地の健康保険に入る場合は、台湾に来てから 2 回以上出国していないことが条件になるので気を付けてください。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	159950 円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☒ 年 ）
	支払い時期と方法	学期の初めに寮の事務所に現金払い
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
メリットとしては寮費が安いことです。 デメリットとしてはあまり綺麗ではなかったことです。私が住んでいた30棟の部屋は、埃やゴミがたまりやすかったので定期的に掃除をしていました。2階のトイレ・シャワールームは比較的綺麗なほうですが、トイレはよく詰まりを起こしていました。4人部屋なのでルームメイトの生活音が気になることはよくありましたが、段々慣れてきました。もし、ルームメイトや部屋の設備に問題があったりする場合は寮の事務所の方に相談することをおすすめします。（ルームメイトが夜中騒いでねむれない、エアコンが壊れたなど）		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
大学内の食堂で食べたりもしていましたが、ほとんどは大学のすぐ近くにある夜市に行き食事をしていました。大体のお店がイトインかテイクアウトを選ぶことができるので非常に便利です。		
どのような家具・日用品が用意されていたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
勉強机、2段ベッド、クローゼットの家具がもともと備えつけられています。日用品は用意されていなかったため、到着したその日に夜市で必要なものを買って足しにいきました。シャンプー、リンス、ボディソープ、洗顔、ハンガー、歯ブラシなどの日用品を揃えました。タオルは日本から持ってきたものを使っていました。電動髭剃り機は現地で買って少し出費したので、日本から持ってくるべきだったなと思いました。電化製品は着いてから買うと高いので、持参がおすすめです。		
日常の買い物について		
近くの夜市か、バスで2駅ほど乗ったところに「家樂福」というショッピングセンターで簡単な買い物は済ませていました。洋服はいつも「NET」という台湾版GUみたいなお店で洋服をそろえていました。		
現地での移動手段について		
ほとんど移動はバスを利用していました。本数も多く便利なのですが、通勤・通学、帰宅ラッシュになると大きいバスでも、中がパンパンになるほど混むので時間帯には注意です。いろんな場所に「You bike」というレンタル自転車が設置されているので時々それも利用していました。現地の友人と遊びに行くときはバイクの後ろに乗せてもらっていました。毎回ヘルメットを借りていたので、しばらくしてから自分専用のヘルメットを購入して、乗せてもらうときはいつも持っていくていました。		
休暇中の過ごし方について		
図書館で自習をしたり、友人と遠出やスポーツと一緒にやったりしてすごしていました。また、フィールドトリップに出かけたり部活の試合にも出場していました。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
私は特にありませんでした。しかし、日本人留学生の友人が開講されているはずの授業の第一回目を受けにいったところ、教室には誰もいないというハプニングが発生しました。OIR(国際関係事務所)に確認したところリモートで行われていたそうで、無事履修することができました。このような事態がときどきあるので、困った場合は OIR に問い合わせるのが一番です。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
きちんと出席すること、課題の提出や小テストをしっかりとやっていれば問題なく単位をとることができます。成績評価方法は沖縄とさほど変わらないと思います。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
4月から大学のバドミントン部に加入していました。月金が19時から体育館で練習、水曜日の19時からジムで筋力トレーニングの週3日の活動でした。学内の大会や市が開催する大会にも出場したりもしました。部活動に加入してから人とのつながりが大きく広がり、地域の方とも関わることができました。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単 位 数	沖縄国際大学で申請予定の科目 名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
(春)A201: Introductory Modern Chinese (語学学校)	15		
(夏)B101: Intermediate Modern Chinese(語学学校)	15		
(秋)B103: Intermediate Modern Chinese(語学学校)	15		
(春)Taiwan History and Cultural Heritage (学部授業)	2		
(春)Theory and Practice of Badminton(学部授業)	0		

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月15日	台湾到着
2月26日	春学期語学学校開始
3月23日	学部授業で台南へフィールドトリップ
4月4日	連休を利用して友人と嘉義へ1泊2日の旅行
4月27日	台南へ2度目のフィールドトリップ
5月4日	クラスメイトで高雄へ旅行
5月18日	学内のバドミントンの大会に参加
6月14日	春学期語学学校終了・各クラスによる発表会
7月8日	夏季語学学校開始
8月30日	夏季語学学校終了
9月23日	秋学期語学学校開始
10月26日	台湾 LGBT プライドパレードを見るため台北へ
11月23日	語学学校主催のフィールドトリップで南投へ
1月10日	秋学期語学学校終了
1月14日	友人と一緒に彼の地元である再び嘉義へ最後の台湾内旅行
1月17日	沖縄帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		8 1 3 9 0 円			
B. 海外旅行保険（1年）		1 4 4 0 2 0 円			
C. 授業料（1年） ※沖国大に納める授業料は除く		9 0 0 0 0 (夏季講座分) 円			
D. 教材費（1年）		1 8 5 0 0 円			
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	1 3 3 2 9	円（月額）	1 5 9 9 5 0	円（年額）
	食費	4 1 8 5 0	円（月額）	5 0 2 2 0 0	円（年額）
	交通費	3 0 0 0 (台中市内は0)	円（月額）	3 6 0 0 0	円（年額）
	携帯代金	2 9 1 6	円（月額）	3 5 0 0 0	円（年額）
	交際費（娯楽代）	1 0 5 3 5	円（月額）	1 2 6 4 2 0	円（年額）
	その他	1 1 3 7 0	円（月額）	1 3 6 4 4 5	円（年額）
	生活費合計	8 3 0 0 0	円（月額）	9 9 6 0 1 5	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1 3 2 9 9 2 5 円			

● 留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
私は出発時に現金約10万、クレジットカードに約20万の合計30万ほどを持って台湾へ出発しました。クレジットカードはJCBとVISAの2種類を持っており、どちらが使えないときのために2つ持っておくと便利です。VISAのクレジットカードは銀行口座と紐づけしているデビットカードなのでATMからお金を引き出すことができるので便利です。手数料が日本円で500円ほど取られるので1回で多く引き出すことをお勧めします。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。	
交通費や食費は日本と比べて安いので無理に節約しようとしなくて大丈夫だと思います。しかし、寮費や教科書代など大きな出費のことを考えながら使うことを忘れないようにしましょう。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	東海大学(台湾)	
留学期間	2024年2月15日～2025年1月17日	
所属学部・学科	総合文化学部・社会文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	3年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

1. 授業を通して学んだこと

語学学校に通い始めて本格的に日本人以外の国籍の人たちと授業をすることになって、海外初めての私にとって最初は緊張が止まりませんでした。日本で既に2年間中国語の授業を受けていましたが、前半はまともに話すことができませんでした。自分の意見さえいえることができませんでした。そのときはまだ、心のどこかで「恥ずかしい」という気持ちがどうしても抜けませんでした。間違えることが恥ずかしいという考えがあり、簡単な質問もすぐには答えることができませんでした。しかし、周囲のクラスメイトをみると、文法が少し崩れていても、単語が分からなくても、楽しそうに意見を述べている姿が私の考えを変えてくれました。なにも行動しないことが一番自信を失う行動ということに気が付きました。そこから少しずつではありますが、小さな疑問も先生に質問や、作った文章におかしいところは無いか自分から聞いてみるなどして、語学学習の姿勢を変えていくことができました。たまたま授業の内容から脱線することがあったのですが、そのときの雑談に自分も混ざって自然に意見を言えるようになったときに、1つの成長を感じました。これまではよくわからず笑ったりしていたのですが、理解できるとより一層笑うことができ嬉しい気持ちにもなりました。春学期からずっと同じクラスだったフランス人のクラスメイトは常に積極的に意見を述べており、クラスの誰もが見習う存在でした。私が悩んでいたり、意見を言うべきか迷っていたりするといつも背中を押してくれました。実は彼と隣席になって分かったのですが、あまり筆記は得意ではないことがわかりました。しかし、いつも先頭に立ってコミュニケーションを取ろうとする姿勢は、語学を学習するとき以外でも必要な行動力だということを、国を越えて教えてもらいました。

2. 人間関係を通して

私は語学力を上達する目的以外に多くの人とつながりを持つことも目的として留学生活を送っていました。待っているのは始まらないと思い、知り合った台湾人の友人に頼んで部活動に参加させてほしいと連絡をしました。入部当初は緊張のあまり誰とも会話を交わすことができませんでした。しかし、スポーツの力を借りて徐々に話しかけることができたり、話しかけられたりするようになりました。語学学校とは違って日常会話となると話す速度が一段と速いので、仲良くなった当初は聞き取れない部分が多くありました。その都度謝りながら何度も聞き返していたのですが、「ごめんはいらないよ、友達だから」と言ってくれました。その言葉でちゃんとチームの一員になれた気がして非常に嬉しかったことを覚えています。伝えきれなかったり、よくわからなかったりすると、これまでは申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、そんなことは気にせず会話を楽しめばいいんだと思う気持ちが楽になりました。そして、分からないときは素直に分からないと伝えることも彼らから教えてもらいました。そのおかげで、多くの出会いをすることができました。友人の家族、体育館でバドミントンを一緒にやった地域の方々、串屋の店長さんやドリンク屋の店長さんなど、幅広く多くの方々とつながることができました。私自身人見知りな方なので、こんなに多くの人と関わることで正直驚いています。もし部活動に入っていなければ、これまでの出会いは無かったはずなので、勇気を出して現地のコミュニティに入ってよかったと心の底から思っています。コミュニケーションの機会が増えたことで自然に語学力の上達につながるだけでなく、現地の言葉でコミュニケーションを交わす楽しさも人間関係を通して教えてくれました。

3. 食生活について

台湾での食生活は基本的に外食になります。昼、夜ごはんはほぼ毎日近くの夜市で食事をしに行っていました。種類も豊富で美味しいお店がたくさん並んでいますが、注意点があります。1つ目は野菜をきちんととることです。料理のなかに含まれている野菜は本当に少ないので、単品でキャベツ炒めや水蓮菜の炒めなどを主食と一緒に注文することをお勧めします。特にこの2つはどのお店にでもあると思うので、ぜひ美味しいので食べてみてください。2つ目はテイクアウトをしたらずに食べることです。料理が冷めてしまい美味しさが減るのも理由ですが、一番の理由は食中毒です。実は一度食中毒になったことがあり、原因がテイクアウトで買った水餃子を数時間箱に密閉したままで、あとから食べたのが原因だと思われます。さらに天気も暑いこともあり、悪条件が揃った結果症状を引き起こすこととなりました。買ったものはすぐに食べることにし、そして夏場はとくに菌が増殖しやすいので注意してください。もし、食中毒になった場合はすぐに病院に行くようにしてください。さもないと症状が長引いたり、ひどくなったりするので早めに診てもらうことが大切です。私の場合はしばらくしてから病院に行ったので、治すのに時間がかかってしまいました。健康や安全に気をつけながら、現地での食事を楽しんでほしいと思っています。

4. 寮生活について

私が住んでいた寮は4人部屋で、私含め日本人が2人、台湾人の学生が2人という構成でした。私は初めての寮生活だったので始めは緊張していましたが、時間が経つにつれて少しずつ慣れていきました。ただ暮らしていくうちに、寮生活ならではの問題が出てきました。それはエアコンの問題です。寮のエアコンは専用のカードにチャージして、機械に挿入して使います。私たちがいない間に大量に使用されていたり、点けたときに体調を理由にすぐに消されたりなどの問題がありました。エアコンが使えないなら、扇風機を点けたり窓を開けたりしたのですが、それらも時々使わせてもらえませんでした。夏は一時期本当に暑くて眠れないときがありました。これも寮生活ならではの一つの経験として捉えています。今思うとそのルームメイトと話しあったり、それが事務所に相談して部屋を変えてもらうなどのことをしておけばよかったなと思います。住む場所でストレスをため込んでしまうと体や精神的にも悪いので、なにか問題があれば早めの対処をするべきです。

5. 留学を振り返って

1年間という留学生活は長いようであっという間でした。時間が早く過ぎたように感じたのは、毎日が充実しており無駄な日が1日もなかったからだと思っています。初めての海外生活で不安が多くあるなかで、一つ一つの行動を実行することは簡単ではありませんでした。語学が上手く伸びずに悩んだり、慣れない生活環境に悩んだりするなど、辛いときもありました。しかし、その経験は成長には必要なもので、乗り越えられたからこそ今の自分につながっていると思います。そしてそれは、自分自身の力だけではなく周囲の方々のサポートがあってこそその成長だと感じています。今回の留学で語学の上達だけでなく、人間性をも磨くことができたと思います。そして、一番の収穫は外国語でコミュニケーションをする楽しさを得たことです。以前の自分は外国語で会話をすることすら考えられませんでした。留学を選んでいなければ、得ることのなかった大きな学びだと思いますし、私の留学を支えてくれた方や、多くの学びを教えてくれた方々に本当に心から感謝しています。今回の留学で得た学びを残りの学生生活、そして今後の社会生活に活かしていけるようにしたいです。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	釜慶大学	
留学期間	2024 年 2 月 28 日 ～ 2024 年 12 月 27 日	
所属学部・学科	産業情報学部企業システム学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	4 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOPIK2 級
帰国時	TOPIK 6 級

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。 留学当初は簡単な会話程度しかできませんでしたが、帰国時は日常会話レベルに成長したと思います。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。 私は、語学力向上以外に 2 つの目標を持って留学しました。一つは、異文化に触れることで視野を広げること、もう一つは、適応能力です。釜慶大学では外国人留学生が多いので、韓国以外の国々の文化に触れることができ、新しい発見が沢山ありました。適応能力は、韓国の生活に慣れるまでに時間かかりましたが、自分の生活リズムを確立することで快適に生活できるようになりました。授業では、日本が韓国人からどのように見えているのか知ることができ面白かったです。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。 私は、今回の留学を通して自己管理能力とコミュニケーション能力が向上したと思います。いろんな人と会い、違う言語でも友達になることができることを実感したので、留学で学んだことを共有し留学希望者の役に立ちたいと思います。また、語学力をなるべく低下させないように定期的に韓国語に触れていきます。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	留学前に派遣先の大学について調べたことが役に立ちました。事前にどういう大学なのか知ることが愛着を持つことができました。そして、自分の国や地域について調べることもお勧めします。私は、事前に行わなかったのですが、語学学校ではいろいろな国の人がいるので自分の故郷を紹介することが多々あり、沖縄について全然知らないなと実感したので少し調べていくのもいいと思います。
--------------------------	--

●ビザについて

ビザの種類	D-2
申請から発行までかかった期間	2日程度
申請時期	☒ 渡航前 ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと 米印必要書類、費用、予防接種や 健康診断書の有無など	沖縄では申請できなかったため、福岡大使館まで行きました。必要な書類を間違えて取ると福岡までいった意味がなくなるので注意して下さい。また、申請から発行まで時間がかかることが普通なので、事前に電話で申請から発行まですぐに受け取れる可能性が高い日を問い合わせに行くのを勧めます。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
国際郵便で送りました。飛行機便だと1～2週間で届くと思います。しかし、荷物の内容物の合計金額が高かったり、禁止品が入っていると韓国の税関で引っかかり、対応も難しいので気をつけてください。渡航前におくるさいは大学の担当部署宛先で送ると思うので、留学先大学に問い合わせてください。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
沖縄から釜山に直行便がなかったため、那覇空港から一度福岡に行き、釜山の金海空港へ行きました。決められた日時に金海空港に着くと大学の担当者がシャトルバスで迎えに来てくれるのでそれを利用して大学へ行きました。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
大学側から出迎えサービスが利用できる日時が送られてくると思うので、それに希望の日時を担当者に送ればよいと思います。日本語が話せる大学生も来てくれるので安心して利用できました。
その他出発前に準備しておくべきこと
海外利用手数料が低いクレジットカードを2～3枚と銀行口座紐づけのデビットカードを持っていくのを勧めます。あと、個人的にiPadを持って行って良かったと思います。日本の大学のように大学内での印刷は無料ではないのと、韓国の大学は資料がポータルを通して送られてくるのでダウンロードしてすぐに書き込めるのでとても便利でした。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
交換留学生対象の歓迎会があり、大学内の施設で世界各国から来た留学生とチキンやピザを食べた後に、大学構内を案内してもらいました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
外国人登録の申請を大学で行いました。その後指紋登録を出入国管理局で行い、登録証の発効までに約 2 か月ほどかかりました。その外国人登録証を使い銀行口座の開設をしました。

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
釜慶大学は比較的留学生が多い大学だと思います。私の体感的に中国などのアジア出身の学生が多かったです。また、I-Friend という留学生と韓国人学生が交流する活動があります。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）
PC の有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について
基本的な設備はすべてあり、大学構内に寮があるので、コンビニやクリーニング屋など生活に便利な施設もあります。大学の講義では、多くの生徒がノート PC や iPad を持ち込んでいました。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学構内は誰でも出入り自由で近所の人がよく散歩しています。大学周辺は居酒屋や飲食店も多いですが、生活していて治安が気になることはなかったです。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
保険は渡航前に沖縄国際大学から指定された保険に加入しました。現地で病院に行きたくなったときは保険会社に連絡すると通訳の方が一緒に来てくれて治療費も全額保険会社が負担してくれました。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	450,000 円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☒ 年 ）
	支払い時期と方法	銀行で現金振り込
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
メリットは 3 食つきで、一人暮らしよりは安いです。デメリットは、基本二人部屋なのと建物が 20 階建てなのでエレベーターが混みます。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
基本的には、寮にある食堂で食べていました。たまに寮の一階にあるコンビニで買ったり友達と学校近くで食べに行っていました。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
ベットや机、冷蔵庫はありますが、布団は自分で購入する必要があります。以前は、大学の近くに大きいスーパーがあったのでそこで布団やドライヤーなどの日用品が買えたのですが、閉店してしまったので日本で買って送るか、近くで買える場所を探しておいた方がいいと思います。		
日常の買い物について		
大学の近くにスーパーやダイソーがあるのでそこで日用品の買い物をしていました。		
現地での移動手段について		
バスと地下鉄を主に利用しました。韓国は日本と比べて交通費がとても安いです。		
休暇中の過ごし方について		
休日はショッピングしに百貨店に行ったり、大学内のジムに通っていました。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
授業登録の仕方が複雑なので、友達や大学の担当者に聞いたりしました。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
語学学校は毎日授業を受けていれば問題ないと思います。大学は授業の内容によるのですが、沖縄国際大学よりも課題が多く、テストの難易度も高いと感じました。なので、留学しているときに大学生活の中で一番勉強したと思います。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
サークルなどには参加しませんでした。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
映像で見る韓国文化「前期」	3		
中級日本語会話「前期」	3		
マスメディア日本語「後期」	3		
ビジネス韓国語Ⅰ「後期」	3		
日本語対照分析「後期」	3		
大学韓国語Ⅱ「後期」	3		

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【今後留学予定の方への注意事項】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

● 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月28日	現地到着
3月4日	学期開始
6月末	前期終了
9月2日	後期開始
10月13日	第96回 TOPIK 試験
10月23日	中間考査
11月10日	第97回 TOPIK 試験
12月17日	期末考査
12月27日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		40,000 円			
B. 海外旅行保険（1年）		150,000 円			
C. 授業料（1年） ※沖国大に納める授業料は除く		100,000 円			
D. 教材費（1年）		40,000 円			
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	45,000	円（月額）	450,000	円（年額）
	食費	20,000	円（月額）	200,000	円（年額）
	交通費	3,000	円（月額）	30,000	円（年額）
	携帯代金	6,000	円（月額）	60,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	50,000	円（月額）	500,000	円（年額）
	その他	8,000	円（月額）	80,000	円（年額）
	生活費合計	132,000	円（月額）	1,320,000	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,650,000 円			

● 留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
奨学金が毎月 110 万ウォン(約 11 万円)韓国の口座に振り込まれていたため、生活費は主にそのお金を使いました。寮費や語学学校の費用は渡韓時に 50 万円を持っていき空港で両替したお金と、足りない場合はグローバル ATM を利用して日本の口座からお金をおろしたり、日本のクレジットカードで支払いしていました。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。 お金を気にせずに生活できることは心の余裕につながるため、お金が多いことに越したことはありません。 海外でクレジットカードを使用する際は為替レートのほかに手数料がかかるので、手数料の低いクレジットカードを使用するか留学先で日本円を両替するかよく調べてから決めるのを勧めます。また、空港で両替するのは為替レートが悪い場合が多いので、あまりお勧めしません。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	釜慶大学	
留学期間	2024年2月28日～2024年12月27日	
所属学部・学科	産業情報学部企業システム学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

最初に今回の交換留学生活を通じて、私は多くのことを学ぶことができたので、それについて話していきたいと思います。まず、韓国語の実力を大きく向上させる機会となりました。特に留学期間中に TOPIK6 級を取得したことは、私にとって非常に意味のある成果になりました。また、韓国の大学生たちとの交流を通じて、彼らの生活や文化を直接経験できたことは、大きな財産になりました。そして、語学堂で出会った世界各国の友人たちとの関係も、私にとって忘れられない大切な思い出になりました。彼らとの交流を通じて、韓国文化だけでなく、世界各国のさまざまな文化についても理解し、学ぶことができたと同時に自分の視野が広がりました。文化や宗教が異なる人々と寮生活を共にし、戸惑う場面も多々ありましたが、適応能力が向上し留学前よりも様々な面で強くなったと感じます。これらの経験は留学しなければなかなか体験できなかったと思います。またこうした経験は、韓国だけでなく、より広い世界を見る視野を開いてくれたと同時に、私のコミュニケーション能力や自己管理能力を大きく向上させるきっかけにもなりました。もちろん、交換留学生活の中で大変な瞬間もありました。家族や友人に会えなかったことは、最初はとても辛かったです。新しい生活環境に適応するまでの時間は、孤独や不安でいっぱいでしたが、その過程を通じて、自分自身が一段と成長したと感じます。実際、帰国後は明るくなったと言われることが増えました。両親には時間管理ができるようになっていと言われ、他人から見て成長したことを感じてもらえるようになりました。

次に、留学生活を送るうえで感じたことについて話していきたいと思います。まず食事の面では、元々辛い料理があまり得意ではなかったため、最初の頃は辛い料理を食べてお腹を壊すことが多かったです。寮の食堂では 3 食必ずキムチがあり、おかずも半分以上が唐辛子の入った赤い色をしていました。初日にキムチチゲを食べてお腹を壊してから、自分が食べられる辛さをよく考えてから食べるようになりました。すると次第に辛さにも慣れてきて韓国料理の魅力を感じるようになりました。特にユッケとテジクッパが好きになりました。ユッケは日本では提供するお店が少なく気軽に食べられないので、帰国前にたくさん食べてきました。テジクッパは釜山を代表する料理で煮込んだ豚肉を自分好みに味付けして食べる料理で寒い時期に食べると体もあたたまりとてもおいしいので、釜山へ行く際はぜひ食べてみてください。日本では代表的な韓国料理が韓国ではあまり見られないなど、日本風の韓国料理と本場の韓国料理を食べ比べるのも面白いと思います。今ではどちらも美味しく楽しめるようになりました。でもたまに日本風のキムチを食べると、韓国の辛く酸っぱいキムチが恋しくなる時もあります。

次に寮生活についてです。初めて家族以外の人と同じ部屋で生活したので、慣れるまではお互い気を使っていたと思います。しかし、時間がたつうちにお互いの生活リズムが定まってからは気楽に過ごせるようになりました。また、寮は韓国人や日本人だけでなく世界各国から来た留學生が生活しているので文化の違いを実感しました。寮が 20 階建ての建物なので朝や食堂が開いている時間帯はエレベーターがとても混雑して大変でした。掃除や洗濯など食事以外の家事を自分でやらなければならないので、親のありがたさを改めて感じることができました。この留学期間で生きていく力がついたと思います。

休日はなるべく外出するように心がけていました。元々部屋の中で過ごすことが好きだったのですが、せっかく外国で生活しているので散歩など意識的に外に出ていました。目的地もなく気ままに散歩する時間は自分にとっていいリフレッシュ

シユの時間になったと思います。また、よく買い物をしに百貨店や西面駅に行きました。初めは店員さんが何を言っているのか分からなかったので試着するのも緊張していましたが、だんだんと店員さんの言葉が聞き取れるようになったことで自分の聞き取りが上達したのを感じました。韓国は日本と比べて比較的洋服が安く売られていたり、韓国にしか売られていない商品もあるのでよく買い物に行っていました。特にコンバースや Dr.Martens などの靴が好きなので、留学期間中にたくさん靴を買ってしまい帰国する時荷物が多くて大変でした。ウィンドーショッピングも韓国の文化を覗くことができ楽しかったです。

留学期間中にたくさんの友達と出会うことができました。語学学校に通っていると韓国人よりもほかの国の留学生と会う機会が多いので、いろんな国籍の人と交流できました。年齢層もバラバラで韓国で就職している人もいれば高校卒業してすぐに韓国に来た人もいたのでいろんな話を聞けて面白かったです。授業では先生方が生徒の故郷についてもよく質問してくれるので韓国だけでなくほかの国々の文化を知ることができました。質問に答えられないときもあり、まだまだ沖縄や日本について全然知らないことを実感させられました。また、日本の年中行事と沖縄の行事が異なったりして沖縄は独自の文化を持っていることを少し誇りに思いました。外国人の友達だけでなく日本人の友達にも出会えることができました。日本人とは思えないほどフレンドリーで一緒にいて楽しかったです。高速バスを使い小旅行に行ったり、手料理をふるまってくれたり本当に出会えてよかったです。韓国人の友達とは I-Friend の活動で知り合うことが出来ました。I-Friend は留学生と韓国人大学生が日本語、中国語、英語のグループを作り、月に一回集まったりイベントに参加したりして交流する活動です。なので、日本語ができる学生も多くいるので気軽に話すことができ友達をつくる事が出来ました。韓国語の勉強になるとともに日本語を教えることで日本語を再確認できました。帰国する 12 月はほぼ毎日友達と会って遊びに行きました。

最後に帰国準備について話していきたいと思います。私は年末に帰国予定だったので、学校の期末考査の勉強と並行して荷物整理をしました。大きなキャリーケース一つと、日本から送った段ボール 2 箱で韓国に来ましたが、帰るときは段ボール 4 箱を送りました。一年間でたくさん物が増えたことと、部屋の収納力の高さに驚きました。国際郵便で送る料金が日本よりも韓国の方が安かったのは助かりました。計画的に帰国準備をしていたつもりでしたが、結局荷物の整理は出発直前までかかりました。帰国当日は朝 8 時の直行便で帰国しましたが、6 時頃に金海空港に着くとすでに多くの人が並んでおり、間に合うか心配でドキドキしましたが、無事搭乗時刻に間に合っただけでホッとしました。家族が旅行に来た際も朝早い便だったので空港に人が沢山いたので、金海空港に朝早い便で行く際は早めに行くことをお勧めします。那覇空港に着いたときの湿気や、家のベッドで寝たときの居心地の良さに帰ってきたことを実感しました。これらすべての経験は、言語を学ぶことだけでなく、貴重な成長の機会になったと思います。多くの人のサポートで留学できたことに感謝し、残りの大学生活にその学びを生かしていきたいと思っています。最後に、これから留学に行く方の少しでも参考になれば幸いです。今後も、ここで学んだことをもとに、自分の目標に向けて頑張っていきたいと思っています。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	釜慶大学	
留学期間	2024 年 2 月 28 日 ～2,025 年 2 月 17 日	
所属学部・学科	人間福祉学科 社会福祉専攻	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	4 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	Topik 2
帰国時	語学堂 6 級、topik は帰国後受験予定

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始時は喋るのも聞き取るのも慣れてない状態で韓国語で喋るのがうまく伝わらず不安感あったけど、慣れてきたら耳も慣れてきて不安さを恐れずに喋れるようになったと思う。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
多様な価値観を身につけることが目的の一つだった。語学堂では多国籍の人たちが集まっているので、授業を通して国それぞれの価値観に触れることができ、友達をつくって色々な話をすることで自分の成長に繋がったと思う。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
語学力の向上はもちろんのこと、一年間で様々な人と出会えた。韓国人に限らず日本人の仲間や他の外国人の方々とも、幅広く付き合うことができ新しい経験だった。今後はもっと語学力を向上させるようにしたい。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	他の大学に行くメンバーもいたので、お互い情報交換しながら準備を進めることができたのでよかったと思う。
--------------------------	--

●ビザについて

ビザの種類	D-2
申請から発行までかかった期間	1-2日
申請時期	☒ 渡航前 ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や 健康診断書の有無など	沖縄での留学ビザ発行ができなくなったので、福岡の大使館までいかないといけないので、予定を立てて申請しに行くこと。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
郵便局から国際便で送った。 事前に派遣先学校の担当の先生にどこに送ったら良いか確認した。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港→福岡空港→金海空港 乗り継ぎでそのまま出国した。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
アイフレンドのピックアップサービス有。 事前に派遣先大学から連絡が来るのでそれに従って申し込みする。
その他出発前に準備しておくべきこと

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
交換留学生オリエンテーションがあった。 どちらかというと歓迎会に近い感じだった。他の国の方々も沢山いて、ご飯食べながら交流会をした。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
到着してすぐアイフレンドの学生と一緒に入寮申請。 外国人登録の申請をいつやるかは学校からお知らせが来る。釜慶大学は団体申請するため時間がかかる。5 月頃に外国人登録が届いた。早めにやりたければ個人で申請をしに行っても良いと思う。

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
交換留学生の文化体験もあるから交流することができる。 韓国人学生と交流のチャンスといえばアイフレンドやイベントだと思う。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）
PC の有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について
図書館、コンビニ、銀行、カフェ、薬局など（薬局は学生証があれば無料で処方してくれるのでありがたかった） PC の貸し借りは利用したことが無いのでわからない

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学構内や周辺は特に注意点は無いと思う。 比較的治安はよかった。事故事件が起こったなどの話は聞いたことが無かった。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	約 4,770,000¥ 円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☒ 年 ）
	支払い時期と方法	支払時期は何度かあり、お知らせが来る。銀行振込、現金のみ
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
メリット：学校内のため安全、コンビニ、カフェ、ATM がある デメリット：学食が口に合わないことがある、ルームメイトと気が合わなかったら厳しい		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
寮で提供されるものを食べるか、外食する		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていきべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
用意されていたもの：冷蔵庫		
買ったもの：ドライヤー、物干し竿		
適度な量の生理用品、湿布（個人的に肌に合わなかったから持っていきべきだった）		
日常の買い物について		
近くの安いスーパーで買い物していた。		
現地での移動手段について		
地下鉄、バス、時々タクシー		
休暇中の過ごし方について		
友達と遊びに行っていた。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
交換留学生は1年生扱いだったため、授業登録の優先順位が低くあまり取れなかった。 先生に直接交渉しに行くか、空いた枠を狙うしか無かった。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
そんなに大きな違いはないと思う。真面目に課題や発表を頑張ればそれなりの成績がつく。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
サークルに所属していた。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
映像で見る韓国文化Ⅰ	3		
中級日本語会話Ⅰ	2		
マスメディア日本語	3		
時事で見る韓国社会Ⅱ	3		

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月28日	現地到着
3月4日	春学期語学堂&大学講義開始
3月14日	アイフレンド開始
5月7,8日	学祭
5月9日	交換留学生 文化体験
5月17日	春学期語学堂終了
6月3日	夏学期語学堂開始
6月28日	1学期大学終了
8月12日	夏学期語学堂終了
9月2日	2学期大学&秋学期語学堂開始
11月15日	秋学期語学堂終了
12月2日	冬学期語学堂開始
12月20日	2学期大学終了
2月14日	冬学期語学堂終了
月 日	
2月17日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額	
A. 渡航費（往復）		6万	円
B. 海外旅行保険（1年）		20万	円
C. 授業料（1年） ※沖国大に納める授業料は除く		30万	円
D. 教材費（1年）		2万	円
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	円（月額）	40 - 50万 円（年額）
	食費	円（月額）	18万 円（年額）
	交通費	円（月額）	3万 円（年額）
	携帯代金	円（月額）	4万 円（年額）
	交際費（娯楽代）	円（月額）	5万 円（年額）
	その他	円（月額）	円（年額）
	生活費合計	円（月額）	80万 円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		134万	円

●留学費用について

費用の準備方法 ※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
出国時は寮費と語学堂費を現金で持っていた。 グローバル ATM でおろしたりもしていた。 韓国の口座ができるまでは日本のデビットカードを使って買い物をしていた。
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。
思ったより物価が高かったりするから多めに見積もって準備しておいた方がいいと思う。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	釜慶大学		
留学期間	2024年2月28日～2025年2月17日		
所属学部・学科	人間福祉学科 社会福祉専攻	※沖縄国際大学での所属	
留学出発時の年次	4年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次	

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

一年間の留学で学んだ事や経験した事は、初めて海外で生活をして色々な人と出会い、広い視野で物事を捉えられるようになったこと、挑戦するチャレンジ精神が身に付いたこと、人間関係の難しさを学びました。韓国という国で、もちろん日本とは違う文化があり、考え方や国民性が違ったりしていて面白いなと感じました。特に、韓国人は愛国心が強い方が多いなと感じました。学校の先生や友達と話していても、自分の国が好き、誇りを持っているという気持ちがよく伝わってきました。そこは、日本との違いだなと思いました。留学中、韓国で政治的なデモが全国各地で起こりました。その時の国民の様子がとても印象的でした。国民全員が自分の国を守ろうと、声をあげている姿が、日本とは大きな違いだとすごく実感しました。個人的な考えにはなりますが、他の国に比べると日本は逆に愛国心が足りてないなと思いました。海外に出てみると日本の良いところが沢山見えてきました。それに誇りを持つことって素敵なことだなとこの留学生活を得て感じるようになりました。また、韓国人のみならず、多様な国籍の人たちと一年間過ごしてきて様々な経験を学びを得ました。留学する前までは正直、韓国人以外のお友達ができるとは想像していませんでした。韓国人以外の外国人と韓国語通して意思疎通が可能な関係って留学を得て振り返ると不思議だなとも思うし、語学を通して新しく繋がったコミュニティって素敵だなと感じました。留学前までは、外国人と話すことにプレッシャーや不安感がありましたが、今はそんな気持ちは消え、外国人とも話せるのであれば挑戦したいという気持ちになりました。また、日本に居た時から親しい友達が1人もいない状態で留学がはじまり、一から人間関係を構築して行くことが少ししんどい部分でもありました。人との性格が合う・合わないもこの一年間で正直沢山経験したと思うし、人との付き合い方を沢山学んだと思います。その分、日本にいる友達の大切さに改めて気付かされたし、しんどい時でもどうやって乗り越えていくかは自分なりに見つけて生活していたのでメンタルの部分も強くなったと思います。大学卒業後も、また新しい社会にでて様々な人々に会おうと思います。そんな時、この留学生活を通し乗り越え、学んできたことを活かしていきたいです。

授業を通して学んだことは、大学の授業では韓国の文化について沢山学びました。日本とは違う伝統文化なども学ぶことができました。語学堂では、韓国の文化のみならず、他の国の文化も沢山学びました。語学堂ではただ単に単語や文法を習うのではなく、教科書の中に、韓国の政治や経済、軍隊制度、経営、歴史などが出てくるのでそれについて深く学ぶことが多かったです。そのため、単語や文法だけでなく新しい知識も沢山身につけることができました。また、自分の意見を求められるときや、日本だとどうなの？とか、自分の故郷だとどう文化があるの？など韓国語で発言する場も多かったです。そのおかげで、自分ってあまり日本や沖縄のことまだまだあまり知らないのだなと気付かされました。そのクラスでは自分が日本人代表として喋らなきゃいけないから、ちゃんと責任感をもって伝えなきゃいけないなと思いました。また、語学力の向上はもちろんのこと、自分の国だとどうなのだろうと調べ、考えることが多くなり新しい学びに繋がりました。釜慶大学での課外活動といえばアイフレンドだと思います。そのアイフレンドのグループでは正直、とても仲の良い言えるほどの韓国人の友達を作ることはできませんでした。アイフレンドのグループは何個あるのですがグループによって活発なグループもあればそうでもないグループもあり、私が所属するグループは中々、仲が深まるような感じはしませんでした。その理由も、韓国人がアイフレンドに参加する理由は人それぞれあり、全員が全員、日本人の友達作りたいたい！と思っているわけではないということです。グループを積極的に引っ張ってくれるリーダーや全員が積極的にイベントに

参加しない限り少し難しいなと思いました。なので、私はそれ以外のコミュニティや大学の授業で作ったお友達の方が多いです。また、交友関係を広げようとサークルにも入って見ましたが、私が想像していた雰囲気ではなく2ヶ月ぐらいで辞めました。もっと楽しそうな違うサークルに入ればよかったなと少し後悔しています。それでも、たくさんの韓国人の方々と関わる機会があったのでよかったと思います。

寮生活は、正直しんどい部分が大きかったです。はじめて家族以外の人と暮らすというところでお互いにしんどかったと思います。しんどいことは仕方がないことなので、振り切っていましたが自分なりのストレス解消法を見つけることが1番大切なことだと感じました。私は1人の時間も必要な性格なので、1人で外にでかけたり、散歩したり、友達と電話したりしてストレス発散していました。家族以外の人と暮らすことは私自身だけでなく一緒に暮らす相手も同じ人間なのでストレスを抱え、逆に与えてしまうことはどうしようもないことだと思います。それでも、どうやって過ごしていくか自分との戦いだと思います。次に寮のご飯ですが、最初はおいしく食べていましたが、段々と口合わなかったりしました。そのため、後半は外食も多かったと思います。特に辛いものが苦手な人や野菜が苦手な人、好き嫌いが多い人にとってはかなりきついかたと個人的に思いました。私は好き嫌いが多いわけではないので食べていましたが、正直、外食の方がいいなと思う時も多々ありました。1日3食にするか2食にするか設定できますが、食事なしの設定はありませんでした。食事時間も決められているので、そこも少し合わないなと感じる人もいかもしれません。寮生活の良い面としては、1番は安全であることだと思います。門限は決められていますが、一人暮らしするときの安全性に比べると安心して暮らせると思います。釜慶大学の周りは、比較的治安は良い方だと思いますがそれでも、一人暮らしと比べると寮生活が良いと思います。

長期休暇の過ごし方は、釜山の近くの地方にミニ旅行によく行ったりしていました。ずっと釜山にいるよりかは地方に行って新しい体験をすることはとても良い経験になると思います。普通の旅行に来た時に、わざわざ地方まで行こうとは中々ならないと思うので良い機会だったと思います。KTXに乗って何度かソウルにも行ってきました。釜山からだ2時間半でいけませんが、存分に楽しみたかったら日帰りでは厳しかったです。釜山も中々都市な方ですが、ソウルに行って長期休暇を過ごすのもいいと思います。留学後の計画は、沖縄国際大学四年次として在籍する予定です。topic6級取得にむけて引き続き勉強していきたいと思います。最後に、留学全体を通して、私は留学に行ってきた本当によかったと思います。私はコロナ禍の頃からずっと留学行きたいなと考えていてやっとのことで行けたのがこの一年間の韓国留学でした。キラキラした留學生活だけでは無かったけれど、楽しい思い出や様々な出会いがあって自分自身、沢山成長した一年だったと思います。今までの人生で1番濃くて短いようで長いそんな一年でした。学んだことや成長したことを無駄にせず、これからの将来に役立てていきます。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	釜慶大学	
留学期間	24 年 2 月 28 日 ～ 24 年 12 月 27 日	
所属学部・学科	法学部 地域行政学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOPIK5 級
帰国時	語学堂 6 級修了

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？

所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

TOPIK は 1 年生の時、本当にギリギリの点数で 5 級に合格しました。留学開始時は韓国語での会話はほとんどできなかったし、韓国語の長文読解も苦しかったです。帰国時には、日常生活に不便がないくらいにはできるようになりました。でも、釜山の方言が強いおじいさんやおばあさんの韓国語は聞き取りが難しいです。

語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？

また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。

大学生の間に何か挑戦したかったのと、韓国での生活を実際に経験してみたかったため留学しました。また、小さいころから k-pop アイドルが好きだったので、1 回はライブに行きたいと思っていました。実際に生活してみて、様々な面で日本との違いを感じたし全て良い経験だったなと思います。私は、初めて親元を離れて生活したので家族の存在の大きさも感じました。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

留学を通して、自分の周りにいる人達の存在の大きさを感じたしメンタル面でも強くなったと思います。沖縄や日本の良さも改めて感じることができました。これからも韓国語の勉強は継続していきたいです。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	一緒に留学する皆と仲良くなることができたので良かったと思います。
--------------------------	----------------------------------

●ビザについて

ビザの種類	D-2
申請から発行までかかった期間	2 日程度
申請時期	☒ 渡航前 • ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や 健康診断書の有無など	大使館にたくさん電話で問い合わせた記憶があります。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
私は心配性なので、洋服や生活用品を事前に EMS で釜慶大学に送りました。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
沖縄から釜山までの直行便が無かったため、福岡経由で行きました。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
釜慶大学のピックアップサービスがあったため事前に申請しました。
その他出発前に準備しておくべきこと
白背景の証明写真は数枚持っていきました。また韓国に到着して買うものを事前にメモしておくと思い忘れを防げると思います。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
韓国に到着した次の日に、交換留学生の歓迎・交流会と履修登録の説明をするオリエンテーションがありました。履修登録の説明では、日本人留学生担当の先生が日本語で説明してくれました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
なし
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
すぐに寮費の支払いをしなければいけなかったため、日本円をウォンに換金して学校内にある銀行で支払いをしました。それから、外国人登録証が届いたらすぐに銀行口座を開設しに行きました。

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
交換留学生も語学堂も様々な国からの留学生がいて、日本人の交換留学生は 15 人くらいでした。学期の中間に文化体験があり、留学生同士の交流もできました。現地学生とは、I-Friend というプログラムや学部授業を通して交流することができました。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）
PC の有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について
学校内にコンビニや銀行、カフェ、郵便局など様々な設備が備わっています。24 時間開いている無人のコンビニ、テスト期間には図書館も夜遅くまで開いていました。私は授業で PC が必要となる場面はありませんでしたが、シラバスの検索や申請の際に PC があって便利だったので持って行って良かったと思います。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
治安は日本とあまり変わらないと思いますが、宗教勧誘が多いです。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
留学保険は、沖国から紹介してもらった保険に加入しました。韓国でも健康保険の加入がありますが日本人の場合、免除の申請ができます。免除申請は釜慶大学からもらった書類を記入するだけでした。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	約 45 万 円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☒ 年 ）
	支払い時期と方法	銀行窓口で支払い
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
寮の中にコンビニやカフェ、ATM があるのはとても良かったです。デメリットは、交換留学生は基本 2 人部屋なので 1 人でゆっくり休める時間がほとんど無いことです。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
寮でも食事は提供されますが、友達と外食したりデリバリーをしたりもしました。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
ベッド、冷蔵庫、クローゼット、エアコン、机、お風呂、トイレがありました。布団やお風呂セット、ドライヤー、ヘアアイロン、トイレトペーパー等は近くのマートやオリーブヤングで購入しました。蒸気でホットアイマスクがけっこう活躍しました。		
日常の買い物について		
近くのマートやダイソー、オリーブヤング、ネットで購入していました。		
現地での移動手段について		
電車、バスを主に利用していました。旅行中は、タクシーもよく利用しました。		
休暇中の過ごし方について		
友達と遊んだり、韓国国内旅行をしたり、また好きなアイドルのライブに行ったりもしました。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
沖国とは違い、履修登録が先着順なので時間になったら急いで登録するのが少し大変でした。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
授業のレベルは沖国とあまり変わらないと思いますが、発表の課題がとても多いように感じました。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
サークル等は参加していません。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
中級日本語会話（学部 1 学期）	2		
영상으로보는한국문화(学部 1 学期)	3		
マスメディア日本語（学部 2 学期）	3		
시사로보는한국사회（学部 2 学期）	3		
語学学校 4 級		韓国語Ⅲ	2
語学学校 5 級		韓国語Ⅳ	2
語学学校 6 級			

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2 月 28 日	現地到着
3 月 4 日	1 学期開始
3 月 28 日	ピンクキャンパス
4 月 22 日	1 学期中間テスト（26 日まで）
5 月 7-9 日	学祭
6 月 21 日	1 学期期末テスト（27 日まで）
6 月 28 日	夏休みスタート
9 月 2 日	2 学期開始
10 月 22 日	2 学期中間テスト（28 日まで）
10 月 31 日	イエローキャンパス
12 月 17 日	2 学期期末テスト（23 日まで）
12 月 24 日	冬休みスタート
月 日	
月 日	
月 日	
12 月 27 日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		4万 円			
B. 海外旅行保険（1年）		15万 円			
C. 授業料（1年） ※沖国大に納める授業料は除く		語学堂 19万 円			
D. 教材費（1年）		1万 円			
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	45000	円（月額）	45万	円（年額）
	食費	25000	円（月額）	25万	円（年額）
	交通費	3000	円（月額）	3万	円（年額）
	携帯代金	6000	円（月額）	6万	円（年額）
	交際費（娯楽代）	50000	円（月額）	50万	円（年額）
	その他	10000	円（月額）	10万	円（年額）
	生活費合計	139000	円（月額）	139万	円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		約 178万 円			

●留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
外国人登録証ができるまでは、日本から持って行ったデビットカードとクレジットカードを使用していました。韓国で銀行口座をつかった後は、韓国のカードを使って生活していました。奨学金をもらっていたので、日本から送金したことは無いです。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。 お金のことを気にして生活すると、ストレスが大きくなると思うのであまり気にしすぎない方がいいと思います。手厚いサポート(奨学金など)を受けることができるのは学生の間だけなので、大いに活用して思いっきり楽しんだほうがいいと思います!!でも正直、お金はあればあるほど安心です。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	釜慶大学		
留学期間	2024年2月28日～2024年12月27日		
所属学部・学科	法学部 地域行政学科	※沖縄国際大学での所属	
留学出発時の年次	3年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次	

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

まず初めに約1年の留学生生活を終えて、私は留学して本当に良かったなと感じています。楽しい事だけではなく、大変だった事や辛かった事もありましたが全て良い経験で思い出だなと感じています。それからもし留学するか悩んでいる人がいたらぜひ挑戦してほしいと思います。この報告書では私が留学中に感じたことを中心にまとめていきたいと思います。

○講義、語学堂

語学堂に通ったことで語学力は本当に向上したと感じています。初めは韓国語を学ぶ時に韓国語で説明を聞く事が不思議な感覚でした。私は4級からスタートしましたが4級の時はクラスメイトが話す韓国語の聞き取りが難しかったり、言いたいことを伝えるのが難しかったり、意思疎通が少し大変でした。それから4級の時は韓国に來たばかりだったのでとても緊張していたのを覚えています。級が上がるにつれて語彙も増えクラスメイトとの会話も楽しくなりました。6級では討論や発表の時間も多かったので話す力も成長したなと思います。母国語は違っても、韓国語を使って色々な国の人とお喋りできるのも不思議な経験でした。講義は、日本語の授業と留学生向けの授業を履修しました。留学生向けの授業では、教授も韓国語をゆっくり分かりやすく話してくれているように感じました。2学期に履修した講義では、1人で10分間韓国語で発表しなければならない課題がありました。私は沖国でも発表の課題がある授業がほとんどなかったので緊張しました。発表の準備も韓国語の資料を探すのが大変だったけど今では良い経験だったと思っています。勉強の面で私が1番驚いたのはテスト期間の図書館です。席が1つも空いていない、というくらいたくさんの方がいて本当に驚きました。テスト期間には図書館が夜遅くまで開館し、寮の出入りが24時間可能になる事も驚きでした。

語学力が向上したことで趣味も更に楽しくなりました。私はk-popアイドルが好きでライブにも何回か行ったのですが、話している言葉を理解できて楽しめることが嬉しかったです。またドラマやバラエティも日本語字幕無しで理解できるようになりました。それから韓国でネイルサロンの人とお喋りしていると「來たばかりの時よりも韓国語がとても伸びたね」と言ってくれたことが本当に嬉しかったです。

○寮生活

寮は基本2人部屋となっています。基本的には同じ国籍の人とルームメイトになるのですが、中には外国人とルームメイトになっている人もいました。1人部屋も申請はできるのですが、友達から聞いた話では正規の留学生が優先となっていて申請が通り辛いとのことでした。正直、私の留学期間中の辛かったこと大変だったことは寮生活がほとんどです。1つ目は、ルームメイトと合わなかったことです。しかし、私の場合は本当にラッキーで1学期でルームメイトが帰国したため、7月から帰国するまで2人部屋を1人で使うことができ、ストレスフリーで幸せに生活できました。私のルームメイトは同い年の日本人の女の子だったのですが、衛生面で合わない部分が多くとても大変でした。2人部屋でもルームメイトと合わない場合は、寮の事務室に行くと変更することができます。私は1学期が終わったらその子が帰国することを知っていたため我慢しましたが、ルームメイトと合わない場合はすぐに申請することをオススメします。1学期が終わるまでは友達の部屋に避難したりお散歩したり、部屋にいる時間をなるべく短くしていました。またヘッドフォンを購入して部屋では1人の空間を作るようにしていました。2つ目は、寮のご飯が口に合わなかったことです。寮に食事が付いているのは

ありがたいですが、口に合わないものが多く辛かったです。食堂に行く時は毎回ふりかけや海苔を持って行っていました。寮内には電子レンジとウォーターサーバーはありますが、料理はできないため日本からレトルト食品を送ってもらったり、近くのマートで惣菜を買ったりもしていました。他にはデリバリーをしたり、友達と外にご飯を食べに行ったりもしました。学校の周りには美味しいご飯屋さんがたくさんあるのでご飯屋さん、カフェ巡りをするのもオススメです。

○韓国で驚いたこと

実際に韓国で生活をしてみて驚いたことや不思議に感じたことがたくさんあります。1 つ目は宅配の速さです。沖縄ではネットで買い物をして届くのが遅い事が多いですが、韓国ではネットで買った物がすぐに届きます。夜に注文して次の日の朝に届くこともあったので本当に驚きました。ご飯のデリバリーも予定の時間よりも早く到着する場合があります。2 つ目はお金の面です。ATM からお金を引き出す際、1 日に 10 万円までしか引き出すことができませんでした。寮費を支払う際、2 日間に分けて引き出す事が少しだけ面倒でした。また友達同士で遊んだ際に口座へ送金をするということにも驚きました。口座への送金はアプリから簡単にでき、手数料も全くなかったので友達とご飯を食べる時や旅行の時にとっても便利でした。屋台でも口座送金の所もあります。日本でもこのようにできたらとても便利でいいなと思いました。3 つ目は接客です。「日本の接客は丁寧」という言葉をよく耳にしますが、本当にその通りだなと感じました。韓国では銀行も人によって対応が違い、店員さんも日本よりは無愛想で初めは少し冷たいような感じがしました。ですが優しく対応してくださる方もたくさんいるので、人それぞれだなと思いました。ちなみに寮の事務室も対応が少し怖いと感じることがありました。言いたいことはハッキリと強気で話した方が良いです。4 つ目は車やバスの運転の荒さに驚きました。バスは何かにつまらなさと立ってられないくらい運転が荒いです。座っていてもアトラクションに乗っているような気分でした。私は乗り物酔いを全くしないので楽しかったのですが、乗り物酔いをする人は酔い止めが必須だと思います。それから最後に宗教勧誘の多さです。私は沖縄では 1 度も宗教勧誘に遭遇したことが無かったのですが、韓国に行って宗教勧誘の人に声をかけられる事が多く驚きました。宗教勧誘らしくないラフな感じで話しかけてくる人や中には少し日本語ができる人もいました。明らかに怪しい感じの人もあります。私は散歩をしている時、少し日本語が話せる女性に話しかけられて危うく一緒にご飯を食べるところでした。当たり前ですが「知らない人には付いて行かない」は大事だと改めて学び、自分自身の危機管理能力の無さも痛感しました。私はドラマや k-pop で見る韓国のキラキラした部分しか知らなかったため、実際に住んで良い面でも悪い面でもギャップを感じる事がありました。

○総括

私は今回の留学が初めての海外、初めて親元を離れての生活だったので楽しみ半分、不安半分で渡韓しました。韓国に着いて、もう約 1 年は日本に帰れないんだなと実感して少し寂しくなりました。ですが実際に過ごしてみると約 1 年なんてあっという間でした。韓国人の友達、日本人の友達、語学堂で出会った友達たくさんの人と関わった時間でした。韓国で過ごした時間は人生で 1 番短く感じるくらい充実していました。辛かったことも全て今では笑い話と言えるくらい色々な面で強くなったと感じています。それから困った時に助けてくれた家族、友達、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。周囲のサポートのおかげで私は充実した留學生活を送ることができました。約 1 年間ありがとうございました。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	韓南大学	
留学期間	2024 年 2 月 27 日 ～ 2025 年 2 月 13 日	
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOPIK3 級
帰国時	TOPIK6 級

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
留学開始時は、日常会話程度の内容であれば聞いて理解することはできたが、簡単な返事しかできない程度で、翻訳機なしで会話するのが難しく、飲食店での注文もうまく伝わらないことも多かったが、帰国時には日常会話程度であれば翻訳機も使わずにできるようになり、飲食店でも難なく注文できるようになりました。また、文字を読むスピードも上がったと感じており、韓国語の小説なども読めるようになりました。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
韓国語の向上以外に、韓国の歴史や文化なども学ぶために留学しました。約一年間の留学期間で、日本で詳しく教わったことのなかった韓国の歴史や、韓国独自の文化などを学ぶことができました。また、それらを学びながら、日本や沖縄についてもさらに学べたと感じます。授業や課外活動を通して韓国人学生や他の外国人学生と接することで、色々な文化に触れることができ、固定概念にとらわれずに物事を客観的に見るできるようになったと感じています。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
留学を通して、語学力や韓国に対する知識だけでなく、視野の広さも得られたと思います。今後の目標は、今よりもさらに韓国語を勉強し、ビジネスで使われる韓国語も理解できるようになることです。また、韓国語力を活かして、沖縄を訪れる韓国人との交流も増やしていきたいです。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修で学んだ韓国語や韓国の文化なども役立ちましたが、一番役立ったことは日本や沖縄について学んだことです。韓国に留学中、授業や友達との会話の中で、日本や沖縄について質問されることがとても多く、事前研修で学んだことが役に立ったと感じました。
--------------------------	--

●ビザについて

ビザの種類	留学ビザ (D-2)
申請から発行までかかった期間	14 日程度
申請時期	☒ 渡航前 • ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や 健康診断書の有無など	ビザ申請は沖縄ではできなく、直接福岡まで行って行いました。通常申請してから受け取りまで 2 週間ほどかかりますが、事前に電話で沖縄から来ることを伝えれば翌日受け取りも可能でした。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物は出発の 2 週間ほど前に海外航空便で発送し、届くまでに約 3 週間程度かかりました。荷物発送時にまだ留学先の寮の部屋などが決まっていなかったため、留学先の大学宛てで発送しました。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
沖縄の那覇空港から福岡空港経由で韓国の仁川空港に向かいました。仁川空港から韓南大学までは大学のピックアップを利用しました。空港から大学までは 3 時間半程度かかりました。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
韓南大学はピックアップサービスがありました。申し込みの時期は出発の 1 か月ほど前で、韓南大学から事前に送られた google form から行いました。
その他出発前に準備しておくべきこと
韓国の口座ができるまでに時間がかかるので、10 万円ほどの現金を事前に用意しておいた方がいいと思います。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
韓国に到着した翌日（2月28日）に、韓南大学で交換留学生のオリエンテーションがありました。オリエンテーションでは、バディとの対面式や韓南大学の紹介や説明、今後必要な手続きの説明などが行われました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
在学許可書の申請は韓国に着いてからオンラインで申請しました。銀行口座の開設や外国人登録証の発行などは、オリエンテーションの時にバディに教えてもらいながら行いました。

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
日本からの留学生は8～9人程で、他にも中国や台湾、モンゴル、ベトナム、インドネシア、タジキスタンなど、色々な国から留学生が来ていました。日本人以外の留学生とは語学堂やフィールドトリップなどで交流する機会があり、韓国人学生とは大学の授業や、留学生歓迎会、サークル活動などを通して交流できました。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）
PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
大学内には、食堂、コンビニ、カフェ、銀行、郵便局、書店などがあり、銀行口座開設や荷物の発送なども学校内で行えます。 PC教室はありますが、授業以外では使用しませんでした。授業は基本的に教科書はなく、配布された講義の資料を各自ダウンロードしなければならないので、ノートパソコンやタブレットは必須です。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学構内、大学や寮の周辺は比較的治安は良かったです。寮の周辺はバイクや車が多く、道も狭いため歩く際は注意が必要です。また、治安が良くても夜は大通り以外は基本的に街灯が少なく暗いため、1人で出歩くのは少し危ないかと思います。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
留学先大学が提供する保険はなく、日本を出発する前に海外旅行保険にのみ加入しました。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	24 万 円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☒ 年 ）
	支払い時期と方法	学期の始めと長期休みの始めにそれぞれ口座振り込みで支払い
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
メリットは他に比べ費用が安いところや、お風呂とトイレが別なところで、デメリットは料理ができないところや、洗濯機と乾燥機の数が少ないところなどです。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
寮内には食堂がなく料理も禁止だったため、外食をしたり電子レンジ調理の食料を買って寮で食べるが多かったです。大学周辺は学生向けの安い食堂もたくさんあったので、とても便利でした。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
寮には、机とベッドのみ用意されており、毛布や枕などは現地で購入しました。 韓国で売っている化粧品は日本に比べて値段が高いため、日本のものを持っていくをお勧めします。 韓国の薬は日本の薬に比べて少し強めなので、常備薬なども飲みなれている日本のものを持って行った方が良いでしょう。		
日常の買い物について		
日用品や食べ物などは、寮から徒歩 20 分程のところにある emart やダイソーで購入できます。また、寮の近くにオリブヤングや小さいマートなどもあり、そこでも購入可能です。		
現地での移動手段について		
韓南大学のあるデジョンは地下鉄が 1 本しかないため、主な移動手段はバスでした。バスは本数も多く値段も安いのでとても便利で良かったです。		
休暇中の過ごし方について		
夏休みや冬休みなどの長期休暇は、バディや他の韓国人の友達と会って、ご飯を食べに行ったりカフェに行ったりして過ごしたり、友達とソウルや釜山、済州島などに旅行に行ったりして過ごしました。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
留学生は学部の授業を受けるためには、その授業に参加可能な教授に許可を取る必要がありますが、国際交流チームの先生が直接連絡を取ってくれました。また、韓南大学は授業登録が先着順だったため、その際も国際交流チームの方で手助けしてもらいました。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
課題の量や授業の形式などは沖縄国際大学と大きな差はなかったですが、レベルが少し高いと感じました。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
後期からダンスサークルに加入しました。活動内容は、行事の1か月前くらいから週3程集まって練習するという感じでした。前期の始め頃にサークル紹介なども行っていたので、そこでどういうサークルがあるのか見てみるのもいいと思います。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
韓国学特講「前期、学部授業」	3		
日本語プレゼンテーション「前期、学部授業」	3		
韓国社会の理解「後期、学部授業」	3		
英米短編小説「後期、学部授業」	3		

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【今後留学予定の方への注意事項】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月27日	現地到着
2月28日	オリエンテーション
3月4日	語学堂春学期、大学前期スタート
4月11日	語学堂春学期中間試験
4月12日	語学堂文化体験
4月17日～	大学前期中間試験
4月26日 ～27日	フィールドトリップ
5月16日	語学堂春学期期末試験、春学期終了
5月22日	大学祭
6月3日	語学堂夏学期スタート
6月18日～	大学前期期末試験、夏休みスタート
7月8日	語学堂夏学期中間試験
7月9日	語学堂文化体験
8月13日	語学堂夏学期期末試験
9月2日	大学後期スタート
10月16日	大学後期中間テスト
10月25日 ～26日	フィールドトリップ
11月2日	留学生体育大会
12月18日	大学後期期末テスト、冬休みスタート
2月13日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額	
A. 渡航費（往復）		40000	円
B. 海外旅行保険（1年）		144020	円
C. 授業料（1年） ※冲国大に納める授業料は除く		70000	円
D. 教材費（1年）		7000	円
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	円（月額）	240000 円（年額）
	食費	30000 円（月額）	360000 円（年額）
	交通費	5000 円（月額）	60000 円（年額）
	携帯代金	3600 円（月額）	43200 円（年額）
	交際費（娯楽代）	30000 円（月額）	360000 円（年額）
	その他	2000 円（月額）	24000 円（年額）
	生活費合計	70600 円（月額）	1087200 円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1348220	円

● 留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
韓国は現金をほとんど使わないため、クレジットカードがないと不便です。韓国の口座ができるまで少し時間がかかり、前期分の寮費を払うために現金が必要だったので、日本から現金を持って行った方がいいです。韓国の銀行口座ができてからは、日本の口座から韓国の口座に「wise」という送金アプリを通して送金し、日本のクレジットカードと韓国のデビットカードを併用していました。 韓国銀行などにあるグローバル ATM から日本のカードで現金を下ろすことができます。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。 寮が料理禁止なのですが、毎日外食で済ませると食費の負担が大きくなるので、スーパーなどでレンジ調理の食料を買って食べたり、安く食べれる学校内の食堂を利用したりするのを勧めます。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	韓南大学		
留学期間	2024年2月27日～2025年2月13日		
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属	
留学出発時の年次	3年次	※春学期派遣の場合は4月時点の年次	

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私は小学生の頃から韓国に興味があり、韓国語はもちろん、韓国の文化や歴史、日本と韓国の似ているところや違うところなど、韓国で生活してみないと学べないことを学びたいと思い、韓国の韓南大学へ1年間の交換留学に行きました。

私は、韓国へ留学に行く前に日常会話程度の韓国語や、韓国の文化やマナーなどの基本的なことは知っておいた方が良いと思い、本やネットなどを利用して独学で学ぶ以外にも、直接韓国人と交流するために夏に短期の語学研修で沖縄に来ていた韓国人学生が受けていた日本語の授業のサポートボランティアにも参加しました。そこで友達になった韓国人学生と授業以外でも連絡を取り合って会ったりし、日本のことを教えながら私も韓国について色々学びました。私の場合、偶然にもその韓国人学生の友達が私の留学先である韓南大学の学生だったため、留学前に韓南大学の情報を共有してもらったり、大学周辺の様子などを教えてもらったりしながら情報を集め、留学の準備を進めることができました。

韓国語の勉強をして行ったものの留学当初の私は、韓国語を聞いて大体的な内容は理解できるが、はい・いいえなどの簡単な返事しかできない程度の韓国語力しかなく、会話をするときはいつも翻訳機を使っていました。お店で買い物するときも店員さんが何を聞いているのか理解できないことが多く、マイバッグを持っているのに袋を買ってしまったこともありました。また、食堂やカフェなどでは注文する時に正しい韓国語の発音ができず、1度で聞き取ってもらえないことも多かったです。

私は韓国語力を伸ばすために春学期と夏学期の半年間語学堂に通いました。語学堂では日本人以外にもモンゴル人やベトナム人など色々な国の学生もいて、韓国語で韓国語の授業をするため、最初の頃は授業についていくのに必死で、授業時間内で全てを理解することができず、寮に帰ってからその日の内容を勉強していました。ですが、1か月ほど過ぎた頃にはその環境にも慣れ、授業の内容も理解できるようになっていきました。春学期の私のクラスは、日本人は私しかいなかったため、学校にいた間は日本語を使う機会が全くなく、クラスメイトの子とも先生とも韓国語でコミュニケーションを取らないといけなかったため、毎日新しい単語や表現を学ぶことができ、私は春学期の間に韓国語力を一気に上げることができたと感じます。

私は大学の前期の間、午前中は語学堂に通い、午後は大学で日本人留学生必須の韓国の文化の講義と、日語日文学科の日本語プレゼンテーションの講義の2つを受講しました。どちらも日本語で行われる講義だったため、韓国語がまだ上手くできなかった私にとっては、負担なく受けることができました。韓国の文化の講義では主に韓国の文化や習慣、行事などを日本と比較しながら学びました。この講義で韓国のことを学びながら日本のことも同時に学べ、日本についてもまだまだ知らないことがたくさんあると痛感したのと同時に、韓国と日本を客観的に比較することができた良い機会になったと思います。また、日本語プレゼンテーションの講義は日語日文学科の韓国人学生たちと一緒に受けていたので、グループ活動を通して韓国人学生と交流できる機会が多く、日本と韓国のことをお互いに教えあう中で、私が普段当たり前に感じていたことが韓国人にとっては不思議に感じられたり、逆に韓国人にとっては当たり前のことが私にとっては不思議だったりと、新しい発見や気づきがたくさんありました。

半年間語学堂に通って韓国語での会話もある程度できるようになり、大学の後期には日本人留学生必修の講義の他に、韓国語で行われる学部の講義も受講しました。韓国語での講義は韓国人学生に合わせて進められていくので、私は毎回講義の内容を理解するのに精一杯でした。ですが学部の講義で単位を取れたことで自分に自信がつき、韓国語のリスニング力も大幅に伸ばすことができ、学部の授業に挑戦したことで学力だけでなく精神的な面でも成長できました。また、私は後期からダンスサークルに所属し、サークル活動にも参加しました。サークル活動を始めたばかりの頃は言葉や文化の壁を感じる場面も何度かありましたが、韓国人の友達も新しく作ることができ、韓国語や韓国の文化に触れる機会も多くなって、サークル活動を通して多くの学びと成長があったと感じます。

私がこの1年間で TOPIK6 級に合格できるまで韓国語能力を伸ばせたのは、バディをはじめ韓国人の友達の存在が大きかったと思います。私には前期と後期で2人のバディがついてくれました。バディとは基本的に週1の頻度で会ってご飯を食べたり、カフェに行ったり、ショッピングをしたり、美術館や博物館などに行ったりもしました。私のバディは2人とも日本語を勉強している学生でしたが、私と会話するときはいつも韓国語で話してくれて、私がわからない韓国語の表現や発音などをいつも丁寧に教えてくれました。また、授業やサークルで出会った友達とも放課後や休日に出て、韓国語を話す機会を増やすように心がけました。最初は翻訳機に頼っていましたが、何度も会って会話しているうちに、わからない単語はわかる表現で言い換えて伝え合うことで理解できるようになり、翻訳機を使わずに会話ができるまでになりました。韓国人の友達を作ること、教科書では学べない若者言葉や実用的な韓国語、韓国の流行なども知ることができました。その他にも私は、寮にいる間ルームメイトが日本人なのもあり日本語を使うことの方が多くなってしまったため、休みの日もなるべく外に出て韓国語や韓国の文化に触れるようにしていました。

留学中、語学堂や大学の行事でも韓国の文化やその他の国の文化に触れる機会がたくさんありました。語学堂では毎学期中間テストが終わると文化体験があり、私は春学期と夏学期で遊園地とプールに行きました。また、大学でも交換留学生対象のフィールドトリップが年に2回あり、外国人観光客もほとんど訪れない韓国人の間でしか知られていないような地域に1泊2日で行き、モノ作り体験や乗り物体験をしたり、現地で有名な韓国料理を食べたり、市場に行ったりしました。文化体験やフィールドトリップを通して、韓国の文化に触れられただけでなく、普段関わる機会のない他の国から来た留学生とも交流することができ、様々な文化にも触れることができました。

私は韓国にとっても興味があり、韓国語や韓国の文化、歴史を学びたいと思い韓国留学に行きましたが、海外に行くこと自体が初めてなうえに、寮での共同生活も初めてで、留学当初は不安と心配の気持ちが大きかったです。最初は自分の韓国語にも自信がなく、話すのも恐れ、1人で何もできなかったのですが、1年間を通して徐々に自分の韓国語にも自信がつき、現地の人たちとも会話ができるようになったことで、より韓国のことを知ることができ、1人で外出することも増えていきました。実際に留学に行き、韓国で1年間生活したことで、韓国語や韓国の文化、歴史を学べたのはもちろん、韓国でしかできない経験もたくさんでき、韓国の現状をリアルタイムで知ることができ、韓国に住んでみて気づいたこともたくさんありました。また、日本や沖縄についても多くの気づきがあった1年でした。私はこの留学中たくさんの出会いがあり、韓国人の友達もたくさん作ることができました。様々な文化に触れたことで自分自身の考え方や視野が広がったと実感でき、改めて留学に行って得られたことがたくさんあると感じています。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	韓南大学	
留学期間	2024 年 2 月 27 日 ~ 2025 年 2 月 日	
所属学部・学科	法学部 法律学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	3	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOPIK3 級 語学堂 3B
帰国時	TOPIK6 級 語学堂 4B

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？

所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

日本で TOPIK 試験を受けた時は、3 級もぎりぎり韓国に旅行した際もほぼしゃべれない状態だったが今では一人で買い物や飲食店などで注文もできるようになり、Youtube で字幕なしで理解できるようになった。

語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？

また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。

日本にいるときは一人で行動したり挑戦するのが苦手だったので、留学中は挑戦することを目的として、韓国人の友達もでき一人で違う地域に行けるようになったり、サークルに参加したり語学料以外でも成長できた。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

今後の目標は韓国で就職するか、日本で韓国に関連する仕事に就くか決断してそれに向けて準備することと、TOPIK を帰国後も受けて点数を上げる。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修として授業を受講していたが、授業をとっていたおかげで韓国にきてても語学の面ですぐなじむことができた。特に会計の際の数字や、時間日にちなど聞き取りに自信がなかったが事前研修のおかげですぐなじめた気がした。
--------------------------	---

●ビザについて

ビザの種類	D-2
申請から発行までかかった期間	二週間程度
申請時期	☒ 渡航前 • ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	福岡まで申請しないといけないため、事前に問い合わせて 2 日ほどで受け取るようにしてもらおうと便利

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
2 月の韓国は寒いと聞いていたのでキャリーケースに入りきらない冬服を中心に出国の一週間前に送った。夏服やその他必要だと思ったものは親に送ってもらった。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
2 月 26 日に福岡に行き、27 日の午前中に韓国に到着した。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
韓南大学の交流チームの方が仁川空港までピックアップしてくれた。申し込みは必要なく、事前にカカオトークで集合場所や時間が送られてきていた。
その他出発前に準備しておくべきこと
日本の銀行のアプリや送金アプリなど携帯に事前にダウンロードして韓国でも確認できるようにしていたほうが楽である。

【到着直後の手続きについて】

- 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
韓国到着の翌日に簡単な学校紹介とバディーとの顔合わせがあった。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
オリエンテーションの日に銀行口座開設の書類と外国人登録書の申請書を記入した。ネットで日本国大使館にも申請を行った。

【留学先大学の施設環境について】

- 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
日本人留学生は 10 人程度で、交換留学生は男女合わせて 50 人程度だった。 交換留学生とは同じ寮に住むことになるので、交流ができる。また現地学生とも教授によって交流させてくれる教授もいた。
大学の施設・設備について ※どんな施設・設備が設置されているか（使用可能か）
PC の有無と使用について ※PC 教室の有無と授業等におけるノート PC の持ち込みの必要性について
図書館に自由に使える PC があって、学校内の Wi-Fi に接続してポータルに接続したら無料で映画など見れるサービスもあった。 授業では PC がなくても不便ではないが、現地学生はだいたいタブレットでノートをとっていた。

- 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
学校内は広く、きれいで治安もいい。周辺は食堂が多く飲み屋も多いので一人で出歩くときは気を付けたほうがいい。 寮は料理が一切できないのでレンジで調理する道具などあれば日本から持っていくと便利だと思う。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
寮にはがきが届いていたが、保険には入らなくていいとのことだった。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	50,000～70,000 円（ ☐ 月 ・ ☒ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	50,000 円は各休み期間（夏休み等）70,000 円は学期が始まる時 ☐ 座振り込み
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
メリット 共同生活を経験できる、ほかの日本人や外国人との交流がしやすい。 デメリット 冷蔵庫が使えない、レンジが一つしかない、自炊ができない		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
大体二週間に一回のペースでマートに買い出しに行き、たまに外食や先生方と会食をした		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていきべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
日用品類はほぼそろっていた。ヘアアイロンなどは持って行ったほうが日本に戻った後でも使えるのいいと思う		
日常の買い物について		
食料以外はルームメイトとの割り勘でなくなったら買い足す形にしていた		
現地での移動手段について		
バスかタクシー		
休暇中の過ごし方について		
カフェに行ったり、ボーリングやカラオケなどした		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
日本とは授業登録のやり方が異なって、抽選などではなく早い者勝ちで授業を登録する方式だったが留学生に向けた必修科目と日文科の授業があったためその授業を前期はとることができたのとバディー制度があったので最初の登録時も手伝ってくれてスムーズに登録できました。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
学習量は冲国と差はそんなに感じなかった。 授業のレベルは TOPIK3 級の時点では授業について行けなかったと思うが、後期ではある程度理解できるくらいだった。心理や法律など単語が難しい授業はレベルも高く、韓国語の理解度も必要だと思う。 成績評価は、中間・期末にテストをおこなっての評価だった。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
後期から天体観察クラブに入っていた。 大体、週一で活動があり望遠鏡の組み立てから観察の仕方を習った。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
韓国学特講	3		
日本語プレゼンテーション	3		
韓国社会の理解	3		
日韓交流史	3		

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月 27日	現地到着
3月 4日	大学・語学堂スタート
4月 11日	語学堂 中間テスト
5月 16日	語学堂 期末テスト
5月 22～ 24日	学祭（大学）
6月 3日	語学堂 夏学期スタート
6月 25日	前期終了（大学）
7月 8日	語学堂 中間テスト
8月 14日	語学堂 夏学期終了
8月 29日	後期オリエンテーション（大学）
9月 2日	後期スタート（大学）
12月 19日	後期 期末テスト（大学）
月 日	
月 日	
月 日	
2月 18日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		43, 000 円			
B. 海外旅行保険（1年）		100, 000 円			
C. 授業料（1年） ※沖国大に納める授業料は除く		70, 000 円			
D. 教材費（1年）		18, 800 円			
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	70, 000 50, 000	円（月額）	240, 000	円（年額）
	食費	50, 000	円（月額）	600, 000	円（年額）
	交通費	2, 000	円（月額）	24, 000	円（年額）
	携帯代金	2, 900	円（月額）	34, 800	円（年額）
	交際費（娯楽代）	20, 000	円（月額）	240, 000	円（年額）
	その他		円（月額）		円（年額）
	生活費合計	144, 900	円（月額）	1, 138, 000	円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1, 369, 800 円			

● 留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
韓国は現金払いがほとぼないのでカードを作っておくべき。日本からの送金は WISE というアプリを設定しておくを便利。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。	
海外での生活は不自由なことも多く、初めはつらいこともあると思いますが 3 か月ほどで慣れてきていろんなことに挑戦したり経験できるいい環境だと思います。頑張ってください!	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	韓南大学		
留学期間	2024年2月27日～2025年2月日		
所属学部・学科	法学部 法律学科	※沖縄国際大学での所属	
留学出発時の年次	3	※春学期派遣の場合は4月時点の年次	

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

1 年間の韓国留学を振り返って

1年間韓国での授業を通して、私は後期で教養の授業を一つとって内容が日韓文化交流史という大体日本の歴史が中心で同じ時期に韓国で何があったのか、ほかにも韓国で活躍した日本人について調べるような内容の授業だった。そこで感じたのは日本人の私よりも韓国人のほうが日本の歴史に詳しいなと感じた。日本文化の教授は授業中に生徒に答えを問いかけるやり方をよくするが私が答えられない問題でも韓国人学生が答えたり、答えに自信がなくても積極的に学ぼうとする姿を感じることができた。日本人と比べると自分の意見を恐れず発言する、しやすい環境が韓国のほうが整っているのかなと感じた。また同じ授業で日本語が由来の韓国に今でも伝えられてきた言葉などもたくさん知ることができた。もう一つとっていた授業では日本語を専攻している韓国人学生と日本語でいろいろなテーマに沿って発表するという授業でした。中間テストはグループ発表でテジョンのおすすめの場所をピックアップして良さを伝えるという内容でした。グループは5人で構成されて日本人2人に韓国人3人でした。そのおかげで早い段階からテジョンについていろんなことが知れたり、韓国人の友達も作ることができました。直接韓国人から韓国の文化について教えてもらったり日本語を学ぼうと思ったきっかけや、日本を好きになったきっかけなどお互いの国について交流しながら意見交換することができました。また発表の際にも日本では前に立つ際に携帯をみながら話したり、言葉の使い方も気にしたことなかったのですがそこから評価の内容に入っていたので再認識するいい機会になりました。また発表以外にもこの授業ではグループ活動が中心で毎週違うテーマについて韓国人と意見交換できたりしました。お互いの国の印象や不思議に思っていた文化などについて答えを聞けたり、ここが外国人にとっては不思議な文化だったんだと気づくことができました。

また私は後期から天体観測サークルに参加するようになりました。このサークルがなぜ気になったのかというともともと沖縄にいたときから星を見るのが好きだったけど望遠鏡をつかってみる機会は一回もなかったのでこの機会に韓国語で天体系の勉強も兼ねて挑戦してみました。韓国の大学ではサークルに参加するときに面接を受けないといけない場合が多いです。私も日本人であることを先にメールで伝え面接を受けました。3人の面接官がいて、内容は日本とあまり変わらなくて志望理由や好きな星、頑張りたいことなどを質問されました。無事面接を通過すると大体週に一回活動があってそれに参加する形でした。活動内容は望遠鏡の組み立て、解体をした後にその時期に見られる星の説明を受け、星を望遠鏡で観察するという内容でした。望遠鏡は意外とサイズも大きく3人ほどで組み立てるのですが、その際に韓国語力やチームワークを学び伸ばすことができたともいます。そこで出会った友達も日本語ができない人が多かったので現地の流行りの話し方や話すスピード感などネイティブをすぐ感じることでいい経験になりました。またサークル後の打ち上げなどに参加をすると韓国での会食のマナーを学べたり、新しい友達とも出会えたりとサークルを通して、語学力だけでなくほかの面での韓国文化や新しい出会いがありました。次に寮生活を通して多くのことを学びました。まず日々の小さな気づきや思いやりがどれほど大切なのか実感することができました。私たちは3人一部屋だったので自分のことだけでなく自然と相手を気遣うタイミングが多かったと思います。例えば、朝の目覚ましの音や掃除の分担などお互いがお互いを意識し協力するだけでみんな気持ちよく過ごすことができました。寮生活で一番しんどかったのは料理

が一切禁止だったことです。学食があるわけでもなかったので外食がレンジで調理できるようなものを食べていました。そういった経験ができたおかげで日頃普通に食べることができていた食事に感謝するようになりました。またどうやったらレンジでおいしくご飯が食べられるのか研究していくうちにいろいろ料理について勉強になった部分も多くありました。さらに共同生活をする中で意見の違いや考え方の多様性にも触れ、それぞれの価値観を尊重する大切さを学びました。やはり初めの頃はどうしても衝突が起こることもありましたが、話し合いを重ねることで理解が深まってお互いをサポートしあう関係が築けるようになりました。今後、寮生活で得た経験を活かして人との関わり方にもっと柔軟さを持って、お互いに協力しあい成長していけるようになりたいと思います。相手の気持ちを尊重する姿勢や異なった意見に対しての理解する心を忘れず、日常生活やこれからの就活にも生かしていきたいと思います。

長期休暇の際の過ごし方で私が大切にしていたことは、できるだけ家にこもらず計画をしているいろんなことに挑戦するというのを大切にしていました。私はちょうど夏休みの時期から語学堂の先生の旦那さんが牧師さんをしている教会に参加するようになりました。参加しようと思った理由も、せっかくの休みにあまりすることがなかったのとお昼を教会で提供してくれて韓国のおうち料理を食べられるいい経験になると思って通うようになりました。さらに先生の家族やほかの学生たちと一緒に旅行に行ったり違う地域に遊びに行ったりと韓国人がしか行かないような場所などにもたくさん連れて行ってくれました。教会以外にも夏休みは語学堂も、大学の授業もなかったので韓国語能力を落とさないためにも出会った韓国人とたくさん会うようにしていました。スウォンという地域はカルビが有名で行きたいと思っていたら、仲良くなった学生の地元ということで案内をしてくれました。韓国の良いところは大体どこでも電車で違う地域まで遊びに行ける場所だと思います。この一年でほかにもいろんな地域に行くことができました。田舎に行くと外国人がほぼなく、韓国語で対応してくれるので聞き取りの勉強にも役立ちました。こうやって長期期間中に行動をすることで行動力も身につく、留学生だからこそいけるであろう地域などに行くことができて珍しい経験もすることができ自分の成長に大きく影響を与えてくれたと思いました。

今まで述べたように一年間の留學生活を通して、協力性や相手を尊重する気持ち、挑戦する姿勢、異文化交流なのかでの文化の違いなどいろんなことを学ぶことができました。授業中の積極性なども簡単にまねできるわけではありませんがとて面白い姿勢だなと感じたので参考にしていきたいなと思いました。また外国人の立場を経験してみて沖縄にいる外国人にもっと優しく接していこうと思うようにもなりました。留學を終えた後の計画はまだ具体的なことは決まられていませんが、まずは自分の経験を活かせる場所を見つけていきたいと思います。留學を通して日本とは違う文化や価値観に触れることで多様性を学ぶことができました。これからはこういった学びを活かして空港職や観光業、また日本以外の国での就職なども視野に入れて考えています。特に韓国語やコミュニケーション能力をさらに伸ばしていけるような職を探せられるといいなと思います。就活活動はあまり焦らず、自分にあった職なのかやりがいを感じることができるのかなどいろんな視点から探していきたいと思います。インターンシップに積極的に参加し、実際の職業を体験していくことから始めていこうと思います。留學で得た経験をいかしながら柔軟に進むべき道を見つけていきたいと思います。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	韓南大学	
留学期間	2024 年 2 月 27 日 ~ 2025 年 2 月 18 日	
所属学部・学科	総合文化学部英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	4 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	韓国語能力試験(TOPIK)4 級
帰国時	韓国語能力試験(TOPIK)6 級

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？

所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

留学前に受けた韓国語能力試験と、留学中に受けた韓国語能力試験を比較すると、圧倒的に伸びたのはリスニング力です。留学前に韓国語能力試験のリスニングを受けた際は、問題文を読むだけでかなり時間が取られていましたが、留学中に受けた際は、問題文を読むスピードも上がり、余裕を持ってリスニング問題を解くことができました。韓国語能力試験の後半の問題は、同じ問題を 2 回読み上げるものがあり、留学時はこの 2 回のうちの 1 回目と問題で解くことができ、2 回目の読み上げの時は、次の問題文を先に読めるようになっていたので、それができていた時にリスニング力と読解スピードが上がっていると感じました。

語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？

また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。

海外で自分が外国人という立場で生活することによって、どのような困難があるのか経験したいという目標をもって留学しました。私が一番この留学生活で、外国人として暮らしていく上で大変だなと感じたものは、外国人登録証が発行されるまでの生活でした。韓国では、「外国人登録証」という身分証明証が様々な場面で必要になります。例えば、携帯電話の契約、銀行口座へのオンライン送金などは、外国人登録証が発行されるまではできないので、観光する時に利用する SIM を購入したり、現金でお金のやりとりをしたりと何かと不便なことがとても多かったです。発行されるまでの生活から、韓国では「外国人登録証」があるかないかでかなりできることが限られ、さらに私は、この外国人登録証がないとここまでできないことが多いということを知らなかったのかかなり衝撃的だったし実際に生活してみないとわからないと感じました。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

同世代の韓国人の友人から、私が今まで教科書などで習っていた韓国語よりも、より現地の言い回しに近いナチュラルな韓国語をたくさん教えてもらったことがとても大きいと思います。その学んだ表現を忘れずに復習し、帰国後も韓国語に触れ、沖縄国際大学の授業や韓国人留学生との交流を通して語学力を維持していけるようにしたいと考えています。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	用言の活用、敬語、変則活用の授業が一番役に立ちました。語学堂では、教科書の文法を中心に授業が進められるので、変則活用が出てきたとしても、1 から丁寧に説明してくれることはありませんでした。この時に、留学前に日本語で詳しく学ぶことができてよかったと感じました。
--------------------------	---

●ビザについて

ビザの種類	D-2-6
申請から発行までかかった期間	1～2日程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や 健康診断書の有無など	必要書類：査証発給申請書、パスポート、パスポートのコピー、証明写真(背景は白)、住民票、入学許可書、在学証明書、事業者登録書、残高証明書 事前に領事館に電話して、何日程度でビザが取得可能なのか確認する。予防接種、健康診断書は必要ありませんでした。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
国際小包（航空便）で発送しました。出発の2週間前くらいに寮の住所に送って、入国日には寮に届いていました。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
韓南大学の留学生ピックアップ時間が昼の時間帯だったので、当日に沖縄から行くのは間に合わないということで、入国前日に福岡に行き、次の日に福岡からお昼ごろに仁川国際空港に着く便で行きました。仁川空港からは韓南大学のバスで大学まで移動しました。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
入国前に、出迎えサービスの時刻や集合場所の案内がきました。
その他出発前に準備しておくべきこと
自分が到着するターミナルが第一なのか、第二なのか確認する。現金を換金しておく。空港でインターネットが使えるように、SIMをあらかじめ購入する。

【到着直後の手続きについて】

- 現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
入国日の翌日にオリエンテーションがあり、外国人登録証、銀行口座の申請を韓国人のバディと一緒にしました。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
オリエンテーションは一回しかありませんでした。
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
オンライン在留届の申請。

【留学先大学の施設環境について】

- 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
日本人は8人程度、交換留学とはまた別のプログラムでフィリピンやインドネシアの学生も10人くらいいました。語学堂には、日本人とタジキスタンやモンゴルが1割、そのほかはほとんどが語学研修生のベトナム人でした。語学研修生以外の外国人と一緒にフィールドトリップに行くので少し交流する機会がありました。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）
PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
大学内には、図書館、郵便局、書店、カフェ、コンビニなどがあり、図書館などは学生証があれば利用可能です。 PC教室はありますが、コピーはできません。授業の際にはノートPC、タブレットともに持ち込み可能です。

- 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学周辺の飲み屋街は夜になると少し治安が悪いかもしれません。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
留学出発前に東京海上日動の海外旅行保険のみ加入していました。 留学先大学が提供する保険には入りませんでした。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	7万 円（ ☐ 月 ・ ☒ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	3月、9月(7万円) 7月、1月（夏、冬休み5万円）銀行口座振り込み
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
メリット：トイレとお風呂が別々になっている デメリット：料理不可、洗濯機乾燥機がそれぞれ1個しかない、電子レンジも1個しかない、門限の時間が早い		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
料理が禁止なので、主にレトルト食品を温めて食べていました。学食は寮になかったので行ったことないです。 大学周辺の食堂は価格が安いこともあったので外食も時々しましたが、たいていは寮でスーパーで買ってきたレトルト食品を食べていました。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
机、ベッド、クローゼットなどがありました。私たちが入った部屋にたまたま前回の留学生が残っていたドライヤーとハンガーなどがあったのでそのまま使いました。ベッドのシーツと薄いかけ布団は寮からレンタルできました。ベッドの敷布団は現地で調達しました。基本部屋の中は暖かいですがブランケットなどをもっていくともっといいと思います。		
日常の買い物について		
ダイソーになんでもあるのでダイソーでほぼ揃えていました。食料はイーマートという大型スーパーをよく利用していました。		
現地での移動手段について		
テジョンは電車の路線がひとつしかないのほとんど使いませんでした。徒歩で歩くか、バスに乗るかのどちらかでした。		
休暇中の過ごし方について		
テジョンが韓国の真ん中に位置しているので、上に行くにも下に行くにもとても便利な場所だったため色々な地域に旅行に行きました。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
2 学期から韓国人学生と同じ授業を受講するために、シラバスなどを探していたのですが、韓国は時間割から日本と違うので、バディの韓国人に教えてもらいながら授業を探しました。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
韓南大学の授業はグループ活動の授業が比較的少なく、評価は相対評価制と絶対評価制がありました。 私が参加した日文学科の授業は他学科に比べ、グループワークもありました。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
参加しませんでした。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
日本語プレゼンテーション	3		
韓国社会の理解	3		
韓国学特講	3		

- ・ 履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・ 括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月 27 日	現地到着
2月 28 日	語学堂レベルテスト、留学先オリエンテーション、バディ顔合わせ
3月 4 日	語学堂開始、講義開始
5月 17 日	語学堂春学期終了
5月 22 日	3日間大学祭
6月 3 日	語学堂夏学期開始
6月 21 日	講義終了（夏休み開始）
8月 13 日	語学堂夏学期終了
9月 1 日	2 学期開始
12月 20 日	2 学期終了
12月 21 日	冬休み開始
月 日	
月 日	
月 日	
月 日	
2月 18 日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		45000 円			
B. 海外旅行保険（1年）		144020 円			
C. 授業料（1年） ※沖国大に納める授業料は除く		70000 円			
D. 教材費（1年）		10000 円			
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	11666	円（月額）	240000	円（年額）
	食費	35000	円（月額）	420000	円（年額）
	交通費	5000	円（月額）	60000	円（年額）
	携帯代金	2900	円（月額）	34800	円（年額）
	交際費（娯楽代）	30000	円（月額）	360000	円（年額）
	その他	2000	円（月額）	24000	円（年額）
	生活費合計	86566	円（月額）	1038792	円（年額）
F. 留學生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1307812 円			

●留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
Wise というオンライン送金サービスで送金し、クレジットカードで支払っていました。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。	
携帯費用を格安会社に変えた時からかなり費用を抑えられたので、外国人登録証が届き次第チングモバイルで早めに契約することをお勧めします。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	韓南大学	
留学期間	2024 年 2 月 27 日 ～2025 年 2 月 18 日	
所属学部・学科	総合文化学部英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文（3,000 字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

私は、この交換留学を通して、交換留学は行く前からが重要だと考えます。出発前は、自分で必要書類を集めてビザを申請し、派遣先の学校や寮の情報なども積極的にこれまで留学した先輩に聞いたり、韓南大学の国際交流チームに問い合わせたりすることで、かなり不安を取り除いた状態で韓国に行くことができました。このことから、私が経験した、ビザ申請の際は領事館に事前に問い合わせた方がいいことや、荷物は直接寮に事前に送っていいこと、韓南大学は結核検査の診断書の提出が必要なかったことなど、有益な情報は今後も留学予定の方たちに共有していけたらと思いました。韓南大学があるテジョンという地域は、韓国の真ん中に位置し、韓国第五の都市と言われています。です。で、日本での知名度もあまり高くなく、私もそこまでテジョンについて最初は知りませんでした。ですが、私は留学前に夏の短期留学で沖国に来ていた韓南大学の学生と交流し、テジョンについても教えてもらう機会があったので、その時にテジョンについて知ることができました。実際に、1 年間留学してみて、テジョンにある韓南大学を選んでよかったなと何度も思いました。理由としてはまず、テジョンは、田舎すぎず都会すぎず、程よくなんでもある街というところです。ソウルに比べれば人も優しいし、都会に慣れていない私からすると、時間の流れが少しゆっくりな方であるテジョンは沖縄と少し近いものを感じてとても住みやすかったです。また、韓国の真ん中に位置しているので、上の地域にも下の地域のも行きやすいし、定食が 6000 ウォンで食べれたりと物価が安いのも魅力の一つです。他にも、テジョンは日本人が本当にいません。観光で日本人がくることはほとんどないし、住んでいる日本人が本当に少しいるくらいなので、多言語表示されている案内板などにはほとんど日本語がありません。もちろんお店で日本語が通じることもないので、毎日韓国語漬けの生活を送ることができました。そして、私が通った韓南大学の魅力は、頼れる国際交流チームとバディ制度です。国際交流チームには日本語が堪能な日本担当の先生がいて、私も外国人登録証の申請や授業の相談をしたりたくさん助けてもらったので、そのような頼れる大人が 1 人でもいてくださるのはありがたかったし心強かったです。また、韓南大学は他の協定校 2 校とは違い、一対一のバディ制度があります。このバディ制度は、最初のまだ生活に慣れていない頃に、銀行振り込みや履修登録などを教えてくれたり、わからないことがあればサポートしてくれるという、留学生にとってはとてもありがたい存在でした。また、バディを申請してくれた韓国人学生のほとんどは、日本人と交流したいと思っている人達なので、私のつたない韓国語を優しく聞き取ってくれたり、単語の解説をしてくれたり、お互いに言語交換をしたりと、とても貴重な経験をバディと一緒にできたと思います。バディは初めて仲良くなる韓国人の友達でもあるので、多くの影響を受けるし、週に一回会って韓国語の会話力を養う大事な時間でもあったため、私はこの一対一のバディ制度で一番韓国語の能力が伸びたと感じます。私はこのように、かなり良い環境下で留学することができたのですが、やはり海外で一年住むとなると大変なこともたくさんありました。その一つとしては、まず、韓国で外国人の身分証明証となる「外国人登録証」が発行されるまでの生活が大変でした。韓国は、外国人登録証に登録されている住民登録番号という番号が様々な場面で必要になります。例えば、銀行の送金などができるアプリ、携帯電話の契約など、これらは全て住民登録番号を通して本人確認をしないと登録することができません。ですので、銀行のアプリに登録できていないのでネットでオンライン決済はできないし、会計の割り勘は現金でやり取りしなければならないし、観光用のとても高い SIM を買い続けられないといけないという、とても苦しい生活をしていました。中でも一番不便だったのは、寮の洗濯機がアプリでお金を

チャージして利用するタイプだったのですが、このアプリも登録ができず、洗濯を回すたびにコンビニに行って現金をチャージしないといけないことでした。韓国の外国人登録証は、日本のマイナンバーカードと近いものを感じますが、外国人登録証は圧倒的に韓国で普及しているので、銀行口座の開設や会員登録などでその登録証を通した本人認証がかなりの確率で必須になってきます。アプリの会員登録で、毎回本人認証をしないといけないのは、正直大変ではありますが、その分セキュリティが厚くなっているという点では良い制度だなと感じました。他にも、大変だったことは語学堂の環境です。韓南大学にある韓国語教育院に通っている学生はほとんどがベトナム人でした。私のクラスも日本人が2人、モンゴル人が2人、タジキスタン人が1人で、それ以外の10人は全員ベトナム人でした。もちろん中には真面目な学生もいましたが、残念ながら私のクラスは授業態度が悪かったり、遅刻やテストのカンニングがあったりしたので、語学堂では国によって授業に対しての姿勢の違いがかなり感じられました。そんな環境でも負けずにどれだけ授業に食いつけるかが重要だったので、私は、日本人の学生と切磋琢磨しながらがんばりました。その結果、韓国語を学ぶのと同時に忍耐力まで鍛えられたような気がします。その後私は、語学堂は夏学期まで通い、2学期からは語学堂に通わず大学の授業のみ受けることにしました。韓南大学は、日本人留学生向けの学部授業が1つしかないのも、それ以外は韓国人学生向けの通常授業に参加することになります。私は、日文学科の授業を2つ聴講という形で授業をサポートする役割として参加したのですが、これがとてもいい経験になりました。韓国語で教える日本語の授業を実際に受けられたり、日本語の発音を韓国人学生に指導したりと、日本語を学ぶ韓国人と授業を通してたくさん交流することができました。他にも、授業内では、「沖縄ではどうなのか」という質問をたくさん受ける機会があり、改めて自分の生まれ故郷について考えるきっかけにもなりました。また、授業の中で、期末試験でグループ発表があり、各グループの日本語の原稿を添削するという作業が思っていたよりも大変で苦労したこともありました。添削しているとき、韓国語を直訳して日本語にしている文章を多く見たのですが、韓国語には日本語ではあまり言い表さない比喻表現やオノマトペの表現が多くあり、言い換える日本語を考えるのは大変でしたが、その特徴に気づけたので学びがあつて良かったです。この聴講の授業は、日文学科のお世話になった韓国人の先生に個人的にお願いして参加できたので、自分からアクションを起こしてよかったなと思っています。留学中は自分からどんどんチャレンジしていかないと、韓国人学生と交流する機会が意外とないので、がんばって韓国人の授業に混ざってみたりと、思い切って行動することが大事です。日本人がよくする受け身の姿勢から脱却して、前のめりになって自分から学びに行くことの大切さをこの留学ではとても学んだように思います。このことから、韓南大学に交換留学してさまざまな経験ができたのと共に、もう一つのふるさとが増え、テジョンという素敵な地域で韓国語を学ぶことができ、韓国で生活することができてとても良かったです。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	嘉泉大学校	
留学期間	2024年 2月 29日 ～ 2025年 1月 31日	
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	4年	※春出発の場合は4月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	検定：TOPIK 1 級 語学クラス：3 級から開始
帰国時	検定：TOPIK 5 級 語学クラス：5 級終了、6 級は帰国まで受講

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？ 所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。
韓国で生活するには困らないほどの語学力まで成長したと思います。留学開始時は韓国語が聞き取れないか心配で、1人でスーパーに行くことや1人で韓国人と話すのが少し怖かったですが、帰国時には1人で韓国人の友達と遊べるほどに成長しました。留学開始時の語学検定試験のレベルは TOPIK の作文の問題の53番のグラフ問題も解けないレベルでしたが、帰国時には簡単に解けるレベルになったと思います。
語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？ また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。
語学力の向上以外に、韓国人の友達や違う国から韓国に来た子とたくさん友達になろうと意識していました。そのために秋学期からは1人で日本語学科の授業を履修したり、ソウルで行われているダンスの授業に行っていました。1年間を通して、モンゴル、ベトナム、ミャンマー、ウズベキスタン、中国、フランスなどの様々な国の子どもと友達になることができました。日本語学科の授業では、グループ活動を通して韓国の子と友達になりました。授業以外で韓国語を使って友達と話すことで教科書の言葉だけでなく、日常生活でよく使う韓国語や若者言葉などを学べたと思います。
その他、留学成果や今後の目標を記述してください。
留学先でたくさんの友達も作れて、とても充実した留学生活だったと思います。留学の最後まで語学堂に通っていたので、語学堂の休みの期間以外、平日は毎日4時間勉強できたので韓国語に集中できてとても楽しかったです。また韓国は交通機関が安いので、ソウルから釜山、大田に遊びに行けて勉強以外の時間も充実したと思います。今後の目標は、TOPIK の作文 54番をきちんと解けるようになることです。日本に帰ってきて韓国語を忘れないように復習をコツコツと続けて行こうと思います。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	韓国語の勉強はもちろんですが、日本と沖縄の歴史や文化について調べて発表する授業が役に立ったと思います。日本語学科の授業で日本についてわからないことがあると頻繁に質問されていたので、この事前研修が役に立ちました。この授業で日本と沖縄についてまとめた資料は韓国に持って行きました。
--------------------------	--

●ビザについて

ビザの種類	D-2
申請から発行までかかった期間	福岡にある韓国領事館に行き当日受け取りました。
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	福岡の領事館に行く前にメールで連絡を取っていました。メールでは当日受け取りはできないと言われていましたが、当日の申請後 15 分ほどで受け取りました。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
留学前に荷物を送りたいかったのですが、韓国の学校側に断られたので送っていません。 荷物は全てキャリーケース 1 つとリュック 1 つに入れて持って行きました。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港から福岡空港（2月28日）に行き、博多駅近くで1泊しました。次の日に、福岡国際空港から仁川空港に行きました。（2月29日）仁川空港から大学までは、大学の交換留学生のピックアップバスに乗り、2時間ほどで到着しました。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
大学からの出迎えサービスはあります。大学用のメールに申し込みリンクが送られてきます。
その他出発前に準備しておくべきこと
生活でよく使う韓国語はたくさん使うので勉強しておくことをお勧めします。ドライヤーは持って行きましたが、オリーブヤングにも売っているので現地で買ってもよかったと思います。韓国の歯ブラシはとても大きいので、小さめの歯ブラシが好きな方は日本のものを持っていくといいです。韓国にいても、沖縄にいる家族に荷物を送ってもらえるので、韓国に入国の時には生活に本当に必要なものを持って行った方がいいです。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
2024年3月4日春学期交換留学生オリエンテーション：学校の地図、学校の行事日程、履修登録方法、韓国語の授業について、嘉泉大学校のWEBホームページとモバイル図書館の使い方について、BUBYプログラム、言語交換プログラム、学生食堂、外国人登録、国民健康保険、犯罪予防、交換留学生の禁止事項について。 2024年8月29日秋学期交換留学生オリエンテーション：同上。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
なし。
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
外国人登録証を申請し、発行された後に銀行を開設しました。（5月）帰国前に銀行を解約しましたが、嘉泉大学校の先生は解約しないでいいと言っていたので、交換留学が終わってもまた韓国に行く予定がある方は解約しなくてもいいみたいです。

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について
留学生同士、および現地学生との交流について
語学堂ではベトナム、ミャンマー、モンゴル人の割合が多かったです。交換留学生には、ドイツ、フランス、中国、台湾から来た子もいました。グローバルセンター主催の4月に外国人学生と一緒に1泊2日のキャンプをする交流会がありました。主に交換留学生が対象で、嘉泉大学校に正規留学している外国人学生もいました。 言語交換プログラムでは、春学期の間、韓国人学生4人とグループになりソウルや水原に観光に行きました。漢江でサップをしたり、猫カフェに行ったり、サンリオのポップアップストアに行ったり、プロ野球観戦に行ったりしてとても楽しかったです。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）
PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
大学全体がとても広いので大学内を運行しているバスがあります。図書館は2つあり、自習室やパソコンルームもあるのでそこで勉強が可能です。大学内にはカフェが3つあり、オーブヤング、郵便局、ハナ銀行、本屋、眼鏡屋、飲食店があるのでとても便利です。大学内に最寄駅がありますが、寮まで徒歩25分程度です。学生食堂は3つあり、寮にもあります。

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学周辺はカフェもあり飲食店も多くて便利です。地下鉄を利用すると隣のテピョン駅には市場があり、人も多いです。その隣のモラン駅には居酒屋が多くて、夜遅くなると治安が悪くなると思います。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
韓国に6ヶ月以上滞在する外国人は韓国の国民健康保険に自動的に加入します。外国人登録証が発行された翌月から、入国月から今までの保険料を請求されます。（毎月75,000ウォン程度）解約も可能で、私は海外保険に加入していたので国民健康保険は途中から解約しました。（解約には日本の保険証が必要です。）解約しても、緊急で病院に行くことはなく、熱や風邪の症状で6回ほど病院に行きましたが、毎回通訳さんもいてくれて安心して行けました。

【住居および生活について】

●留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	10,000 円（ ☐ 月 ・ ☒ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	保証料を韓国の銀行窓口で現金で支払いました
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	① 40,400 円（ ☐ 月 ・ ☒ 学期 ・ ☐ 年 ） + ② 39,720
	支払い時期と方法	① 秋学期から2人部屋に移動したので、2人部屋代から3人部屋代の差額分を支払いました。（4ヶ月分） ② 冬休みも2人部屋でした。（12月中旬～2月中旬）
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
3人部屋ではデスク付きロフトベットでした。ベットに上がると頭が天井にぶつかるので、いつもしゃがみながらベットに上がっていました。最初は不便でしたが慣れました。2人部屋はベットと机が別々なので広々使えました。キッチンとウォーターサーバーは各階にあります。冷蔵庫もキッチンに業務用の大きいものがあります。ですが、使用方法があり、部屋1つに対して大きさが決まった透明ボックスに入れて使わないといけないので、3人部屋の時は1人分の使える範囲が狭まるので使いにくかったです。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
大学が開講している時、朝ごはんは学食で食べていました。（朝は1,000ウォン）お昼と夕飯は友達と外食する以外は、寮で自炊をしていました。炊飯器も買ってお米も炊いて料理をしていました。友達と遊ぶ時も一人で遊ぶ時も毎回カフェに行っていたので、カフェにもたくさん行きました。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
ベット、机、収納棚、椅子、Wi-fi、ベットシート（防水用）とベットカバーがありました。入国日に近くの大型スーパーで枕と布団を買いました。冬は部屋にボイラーがあるので厚い布団は必要なかったです。ふりかけや梅干しを持って行きました。		
日常の買い物について		
日用品はダイソーで買いました。（ハンガーやフライパン、掃除用具など）トイレトーパーなどの大きくて重いものは、ネットのクーポンで注文していました。クーポンは食材も日用品も売っていて、遅くとも3日以内に届くのでとても便利です。		
現地での移動手段について		
地下鉄とバスを使ってしました。大学が春休み、夏休み、冬休み以外は大学内のバスが運行しているので大学内のバスに乗って寮まで行っていました。（運用時間は朝8：30から17：00まで）		
休暇中の過ごし方について		
夏休みには友達に会いに釜山に行きました。仁川旅行にも行って海を見て、ジャジャ麺を食べました。TOPIK の試験を兼ねて大田で友達と会い一緒に有名なパンを食べました。学校のない週末にはソウルに遊びに行きました。		

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☐ 有 ・ ☒ 無 ※有の場合（ ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☒ 有 ・ ☐ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
最初の語学堂のクラスを決めるときに、軽く語学力テストがありました。私は TOPIK1 級しか持っていませんでしたが、担当の先生にお願いして 3 級から受講しました。留学前は、語学力の証明書があった方がいいので TOPIK を受講することをおすすめします。履修登録はオリエンテーションで教えてもらった通りにするとできました。でも、交換留学生は、他の学生よりも遅く登録するので希望の科目が通らない場合が多かったです。（特に共通科目のスポーツ科目）1 回目に通らなくても授業の担当の先生に連絡することで通った科目もありました。もし、どうしても履修したい授業に断られた場合は、諦めずに連絡すると入れると思います。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
語学堂の授業は全部韓国語なので最初は難しかったですが慣れました。3 級では말하기（話し）の試験が先生と 1 対 1 形式でしたが、4 級以上からは発表形式になりました。5 級ではグループ発表、6 級では討論の試験がありました。 学部の授業は中間試験と期末試験があり、教科書の内容を分けてグループで 1 回発表しました。成績の評価方法は出席率 20 点、中間考査 30 点、期末考査 30 点、グループ発表 20 点の計 100 点で評価されます。沖縄国際大学の成績評価方法との違いは 1 つあり、絶対評価ではなく相対評価です。試験の点数が良くてもクラスでの順位が悪いと成績も悪くなるので、みんな一生懸命に勉強していました。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
ソウルで行われているダンススクールに行きました。週に 1 回程度で体を思いっきり動かせてとても楽しかったです。大学のサークルにも入りたかったですが、韓国の大学のサークルは新入生受付期間が決まっており、ほとんどが春学期開講時期なのでタイミングを逃しました。大学のサークルに入るには面接やオーディションがあるみたいです。	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
외국인을 위한 한국어 읽기 (春学期学部授業)	3		
외국인을 위한 한국어 듣기 (春学期学部授業)	3		
외국인을 위한 한국어 쓰기 (春学期学部授業)	3		
외국인을 위한 한국어 말하기 (春学期学部授業)	3		
한국문화콘텐츠의 이해 (春学期学部授業)	2		
일본어회화 2 (秋学期学部授業)	2		
일본사정 (秋学期学部授業)	2		
語学堂 4 級 (夏学期)	1 2		
語学堂 5 級 (秋学期)	1 2		
語学堂 6 級 (冬学期 途中まで受講)	0		

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【 今後留学予定の方への注意事項 】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

● 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月 29日	現地到着
3月 4日	春学期交換学生オリエンテーション
3月 4日	学部の韓国語 3 級クラス、学部授業 開講（6月13日終了）
3月 25日	言語交換プログラム 開始（6月7日終了）
4月 22日 ～4月26日	学部の韓国語 3 級クラス・学部授業の中間試験
4月 26日	外国人学生 カピョン キャンプ 1泊2日
5月 8日	嘉泉大学 春の学祭
5月 28日	語学堂夏学期 4 級 開講（8月14日終了）
6月 10日 ～6月 14日	学部の韓国語 3 級クラス・学部授業の期末試験
7月 2日 7月 3日	語学堂 4 級 中間試験
7月 12日	語学堂 4 級 文化体験 ロッテワールド
8月 9日 8月 12日	語学堂 4 級 期末試験
9月 2日	語学堂秋学期 5 級（11月15日終了）、学部授業 開講（12月13日終了）
10月 10日 10月 11日	語学堂 5 級 中間試験
10月 21日 ～10月25日	学部授業の中間試験
10月 30日 10月 31日	2024 嘉泉文化祭
11月 12日 11月 13日	語学堂 5 級 期末試験
11月28日	語学堂冬学期 6 級 開講（2月14日終了だが帰国したので途中まで受講）
12月9日 ～12月13日	学部授業の期末試験
1月 2日 1月3日	語学堂 6 級 中間試験
1月 10日	語学堂 6 級 文化体験 ハンコ作り
1月 31日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額			
A. 渡航費（往復）		40,000		円	
B. 海外旅行保険（1年）		140,000		円	
C. 授業料（1年） ※沖国大に納める授業料は除く		0		円	
D. 教材費（1年）		32,000		円	
E. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	0	円（月額）	0	円（年額）
	食費	30,000	円（月額）	360,000	円（年額）
	交通費	7,000	円（月額）	84,000	円（年額）
	携帯代金	2,000	円（月額）	24,000	円（年額）
	交際費（娯楽代）	13,000	円（月額）	156,000	円（年額）
	その他	40,000	円（月額）	480,000	円（年額）
	生活費合計	92,000	円（月額）	1,104,000	円（年額）
F. 留学生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,316,000		円	

● 留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
現金はできるだけ多く持って行くことと、Wise を登録しておくことをお勧めします。現金は多い方がいいと思います。レートが良い明洞などでウォンに交換した方が節約になります。韓国のATMから日本のデビットカード（私は琉球銀行 VISA デビットカードでした。）からお金を引き出すことはできますが、手数料やレートがとても悪いです。それで、Wise（オンラインで海外送金できるもので手数料もレートもいいです。）で日本の口座から新しく作った韓国の口座に送金していました。送金手続きの問題も出てくるかもしれないので、留学に行く前に送金の練習をしておくことを強くお勧めします。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。	
教科書の購入や、生活必需品の購入なので最初は出費が多いですが、3ヶ月を過ぎるくらいで安定していくと思います。また、外国人登録証が発行されると韓国の国民健康保険に自動的に加入され、毎月75,000ウォンほど（入国した月から含む）請求されます。私は海外保険で十分だと思ったので解約しました。また、留学生活でほとんど自炊をしたので食費を抑えられたと思います。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	嘉泉大学校		
留学期間	2024年 2月 29日 ~ 2025年 1月 31日		
所属学部・学科	総合文化学部・英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属	
留学出発時の年次	4年	※春学期派遣の場合は4月時点の年次	

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

1. 語学堂の授業を通して学んだこと

語学堂の授業は休みの日以外毎日4時間あり、1週間から2週間程度に1回、 쓰기（作文）の宿題があったので日本にいた時よりも書く力が伸びたと思います。また、他の国から留学に来た学生が「アニメが好きだよ」とか、「日本に行ってみよう」とたくさん声を掛けられました。私は日本のアニメをたくさん見ていたのでそれが話題になったと思います。そして他の国の学生は日本にたくさん興味があると実感しました。語学堂で韓国語を学ぶことができましたが、それ以外にも多様な価値観を学ぶことができました。私は、韓国に留学に来ている外国人の学生はみんな韓国が好きだと思っていました。しかし、国の内戦のせいで韓国に留学に来た子もいて様々な理由で韓国に来ていると知り、自分の考えが浅かったなと反省しました。語学堂で進級するにつれて韓国の大学に入学する友達や大学院に入学する友達もいて、異国の地で挑戦している姿にいつも勇気をもらっていました。多様なバックグラウンドを持った子達と一緒に韓国語を勉強することで、日本で勉強することだけでは得られない経験ができ、とても楽しく韓国語を勉強できたと思います。

2. 学部の授業を通して学んだこと

韓国人の友達をたくさん作りたくて、秋学期から1人で日本語学科の授業を履修しました。夏の時点ではまだ韓国語に自信がなかったです。なので日本語学科の授業なら理解でき、日本について興味のある学生が多いと思い、日本語学科の授業を取ることにしました。일본사정（日本事情）の授業ではグループ発表をしました。グループは私含めて5人で、私は発表を担当しました。グループは資料集め・資料まとめとパワーポイント作成と発表者で分担して準備し、発表時間は40分でした。2人で担当したので、私は20分韓国語で発表しました。韓国に留学に来たので、韓国の学生の前で発表してみたいと思い挑戦しましたが、本当に大変でした。でも発表の原稿もグループの友達が手伝ってくれて安心して発表することができました。グループ発表を通して分かったことは、韓国の学生は勉強熱心なことです。資料集めではたくさんの資料をまとめてくれて、他の論文からもたくさん引用してくれました。私のグループ以外の他のグループの発表も分かりやすい発表でとても驚きました。

学部の授業は、語学堂があると時間が合わなくて履修できませんが、語学力が中級から上級だと語学堂の授業を取らずに学部の授業を取ることができるみたいです。私は、韓国人の友達も作れ、韓国語を話す機会も増えるので学部の授業を取ることをお勧めします。

韓国人の学生のほとんどが休学している学生も多く、年齢では4つ年上の方と一緒に勉強することもありました。また、休学をして自分の興味のあることに挑戦したり、インターンに行ったり、留学に行く学生もいてみんな自分の人生を自分で決めている姿がとてもカッコいいなと思いました。

3. 課外活動を通して学んだこと

12月からソウルで開催されていたダンススクールに通っていました。週1回で2時間ほどですが、体を思いっきり動かしてとても楽しかったです。実は夏から参加しようと考えていたのですが、勇気が出なく冬からの参加となってしまいました。私の経験から

今後大学のサークルや郊外で行われているクラブ活動に参加してみたい人は、悩まず早く行動することを強くお勧めします。また、留学中は時間が多くあるので、趣味を持つといいと思います。趣味を持つと友達もすぐできると思います。私はダンススクールに通い友達もできました。一緒に趣味があるとすぐに友達になると実感しました。

大学のグローバルセンターが主催している言語交換プログラムに参加しました。私と韓国の学生4人がグループになって一緒にソウルに観光に行ったり、ボードゲームカフェに行ったりしました。このプログラムは活動回数が最低6回、合計27時間以上の活動が必須です。活動費も毎回支払われ、最後には各言語チームから優秀なチームが選ばれます。私のグループが日本語チームで活動評価で1位になりスタバの商品券をもらいました。韓国で1人では体験できない、漢江でのサップ体験やプロ野球観戦などができ、とても充実した時間になりました。

4.寮生活

寮では春学期から夏休みまでは3人部屋で、秋学期から冬休みまでは2人部屋で生活しました。3人部屋は寮費が無料ですが、2人部屋からは寮費が出ます。でも2人部屋の寮費は、2人部屋の寮費から3人部屋の寮費を引いた値段なので秋学期と冬休みを合わせて約8万円ほどで住むことができました。各階にキッチンと冷蔵庫とレンジ、ウォーターサーバーがあります。私はほとんど自炊をしていました。日本の調味料などは大型スーパーに売っているのでそこで買ったり、沖縄にいる家族に送ってもらったりしていました。キッチンは共同スペースなので、時々、食べ物が取られたり、炊飯器を勝手に使われることもありました。洗濯機と乾燥機は各階に少なくとも1台ずつ、多くて2台ずつあります。1回の利用1,000ウォンで専用のカードにチャージして使うことができます。春学期から滞在していた外国人学生用の寮が工事になるため、韓国人学生用の寮に移動しました。その寮はキッチンがなくて調理ができないので外食かコンビニで済ませていました。

5.長期休暇の過ごし方

夏休みには仁川に観光に行きました。仁川の海を見たりチャイナタウンに行ってジャジャ麺を食べたりしました。また、釜山に行って大学から韓国に留学している友達と会って一緒に国際市場に行ったり、海雲台と広安里に行って海を見たりしました。また、TOPIKの試験も兼ねて大田にも行きました。韓国は日本に比べて交通機関の価格が安い方なので国内旅行に行きやすいです。でも、冬は寒くて頻繁に外に出られないので、秋までに旅行することをお勧めします。

6.留学を通して

留学に行き1年間で成長したなと感じます。特に、留学前よりも自分の意思を伝える事ができるようになったと思います。留学中は基本的に1人で行動するので、自分で決め、自分でご飯も作って生活するので自立できたと思います。韓国に来て初めの頃は、日本人の学生とずっといたので秋学期からは意識して韓国人や外国人の子と話すように意識しました。すると自然と韓国語も話せるようになったと思います。また、日本とは近いとはいえ、韓国も外国なので辛いこともたくさんありました。嫌なことがあっても韓国では外国人だからしょうがないと受け入れることができたと思います。そのような経験も留学の経験の一つだと思います。韓国語に関しては、本当に最初は韓国語が喋れるようになるのが心配でしたが、毎日授業を一生懸命に聞いていると、だんだんと伸びていくので心配ないと思います。でも文法や単語を間違ってもたくさん話す事が大切だと思います。韓国では外国人なので間違った韓国語を話しても当たり前というマインドを持つと心が楽になって話しやすいと思います。

交換留学を通して、留学は語学だけでなく、多様な価値観や日本の見られ方、他の国との違いも知ることができる本当に沖縄では経験できない貴重な時間だったと思います。親元を離れ、初めて1人で生活した1年でしたが精神的にも自立でき、自分に向き合う事ができました。韓国語に自信がなくて交換留学に迷っている方や、4年生だからと迷っている学生は留学に行くことを強くお勧めします。留学で感じたことは忘れずにこれからの将来に活かしていこうと思います。

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国者アンケート

留学先大学	嘉泉大学	
留学期間	2024 年 2 月 28 日 ～2025 年 1 月 29 日	
所属学部・学科	総合文化学部社会文化学科	※沖縄国際大学での所属学科
留学出発時の年次	4 年次	※春出発の場合は 4 月時点の学年

【留学成果報告】

- 語学クラスのレベルおよび語学検定の成績等について（語学検定のスコアなど、具体的に記入してください）

留学開始時	TOPIK4 級
帰国時	TOPIK6 級

※帰国後は留学の成果を確認するため、語学検定等を受験することを強くお勧めします。

就職活動の際、留学の成果や語学力を裏付ける検定（スコア）はアピールになりますので積極的に受験しましょう。

- 留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？

所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

留学開始時点では、TOPIK 4 級レベルの韓国語でしたが、スピーキングが不足していました。その為、「読み・書き・聞き取り」が出来ても韓国語での会話が大変な状態でした。ですが、2ヶ月頃からゆっくりではありますが喋れるようになり、6ヶ月頃からは言いたい事を自然に言えるようになりました。

語学力の向上以外にどのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？

また、授業もしくは課外活動を通して学んだことや成長したことがあれば記述してください。

沖縄国際大学で「韓国の文化」に関する授業を受け、実際に留学を通して現地で学びたい。または、日本と韓国で学ぶ「韓国」とはどのような違いがあるのか調べたいという目的がありました。70%達成できたと感じています。特に課外活動で韓国の友達と文化交流を行った事や生活の中での活動で常に実感する事ができました。また、「何事にも挑戦だ」と言う気持ちが強くなりました。その為、興味のある事は、すぐに確認する事や行動する等、慣れない環境だからこそ何事も積極的にできました。

その他、留学成果や今後の目標を記述してください。

留学成果として、やはり現地に行くことは効果があると言う事です。1人で勉強していた時は一つの言語として勉強していました。ですが、留学を通して言語とは、その国の生活と直結しているのだと感じました。細かな言葉の言い回しも生活の中にある何気ない行動があるから成り立っている事を理解できて、言語習得を深く出来ました。

大学生活では、留学経験を通し、卒業論文に生かしたいと考えています。さらに、韓国留学に興味がある学生や韓国からの留学生へのサポートも積極的にしていきたいと考えています。

進路としては、大学卒業後に空港への就職を目指しています。

※嘉泉大学では、11月頃に交換留学生一人一人に対し進路相談を行います。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	・同時期に留学へ行く学生と交流を深める事ができる。その為、留学に行ってもお互いに連絡し、助け合いなどができた。 ・事前研修では、現地の大学で必要な単語（履修登録、単位など）を勉強していた為、留学初期に学校の手続きなどスムーズに理解する事ができた。
--------------------------	---

●ビザについて

ビザの種類	D-2
申請から発行までかかった期間	2日程度
申請時期	☒ 渡航前 ・ ☐ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	2023年から福岡領事館でビザの申請と受け取りを行う必要になった為、事前に領事館と電話でやり取りを行った。 ビザの必要書類：残高証明（大学から指定された金額 or 月数×10万 日本語 or 英語）住民票（抄本）、パスポート（本体、カラーコピー） 在学証明書（日本語 or 英語）、入学許可証、証明写真 ※変更があるかもしれないので確認してください。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
EMS 郵便物として寮宛に発送 ※嘉泉大学では EMS 郵便物の受け取りが可能です。ですが、宛先を寮にしても가천관(カチョンガァン)という建物の 1006 号室に届きます。また、가천관は寮から遠かったので留学前には何も発送しませんでした。

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港（沖縄）→福岡空港国際線（福岡）→仁川国際空港（韓国）→嘉泉大学のシャトルバス→寄宿舍 ※嘉泉大学ピックアップサービスを利用した為、時間の関係で沖縄→韓国に直行便を使っていく事が難しく、福岡で一泊して韓国に入国しました。
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
嘉泉大学でのピックアップサービスがありました。 ※嘉泉大学の交換留学担当者から 12 月頃にピックアップサービスの申請リンクやお知らせが来ました。申請を行うと、ピックアップサービスを受ける事ができます。
その他出発前に準備しておくべきこと
・可能であれば、VISA カードと JCB カードを持っていく事をお勧めします。（お店や ATM によっては利用できない事がある） ・数日～数ヶ月の e-sim を買っておく ・10 万円程の現金 ・日本の保険証またはコピー（日本人は韓国の健康保険証を免除できるため）

【到着直後の手続きについて】

● 現地でオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
日 程：2024年3月4日 11時 グローバルセンター1階 国際ホール 提供機関：外国人留学生サービスチーム 内 容：履修登録、語学堂、留学生生活の過ごし方、寮、結核検査 ※後期は8月29日に同じ内容で行われた。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
韓国到着後は、すぐに申請するものではありませんでした。 寮に到着後は、寮スタッフの指示で居住期間の申請を行いました。その時に、携帯番号、証明写真が必要でした。 ※寮に居住する為には、結核審査が必須（嘉泉大学では無料でする事ができる） 居住証明証を発給する為には、寮費を払わないともらう事ができない。（居住証明書は、外国人登録証明書を発行する為に必要）

【留学先大学の施設環境について】

● 留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について 留学生同士、および現地学生との交流について
日本人数：前期7人、後期7人 特に嘉泉大学では、ベトナム、中国60%、モンゴル20%、残りがウズベキスタン、ミャンマーなど 日本人の学生は、オリエンテーションで会って仲良くなりました。また、他国の留学生は、授業や語学堂、寄宿舎で仲良くなりました。 韓国人の学生は、授業。一番は、「言語交換プログラム」と言うイベントに参加し、友達を作りました。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か） PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
図書館（二つ）：モバイル学生証があれば、利用可 ※交換留学生の場合、貸出は不可 証明書発行施設：学部成績や在学証明書を発行可能 ※交換留学生の場合、機械での発行が出来ない為、5番窓口で行う トレーニングセンター：大学生であれば利用可 PC教室はあると思いますが自分のパソコンがある為、利用しませんでした。 また、韓国では「PCバン」と言うパソコン利用を専門とするお店が多くある為、外部試験の申請などはお店を利用する生徒も多かった。

● 危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学構内：コンビニ、飲食店、書店、眼鏡店など 大学周辺：マート、飲食店、地下鉄、バス停、ダイソーなど ※基本的に全て揃っている為、簡単に必需品を調達できる。 寮では、避難訓練を前期、後期に一回ずつ行う。

保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。

沖縄国際大学が提供している海外保険のみ

【住居および生活について】

●留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	0 円（ ☐ 月 ・ ☒ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	時期：支払い期間は一週間程度（2、5、6、8月） ※支払う期間は居住期間による（4・8週） 方法：ハナ銀行の窓口（最初）→電子決済（韓国銀行口座を作った為） ※沖縄国際大学の交換留学生の場合、3・4人部屋だと無料。 だが、一応寮費の 100000 ウォン+保証金 50000 ウォン（返金有） ※12月中旬に第一学生生活館（外国人寮）が点検に入る為、隣の第二学生生活館に移動しなければならなかった。
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
外国人寮には、家電製品はほぼ揃っています。（キッチン、電子レンジ、エアコン、床暖房、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機） ※女子寮の3人部屋の場合だと、机の上にベッドがある造りであった為、天井との距離が近かった。また、冷蔵庫を使用する際は3人で一つの箱を別に用意して使わなければならないので、3人分の食料を入れるには不便だった。よく洗濯機が壊れていたのも不便だった		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
基本は自炊。また、学生食堂があるため朝食・昼食は利用をしていた。（朝食は約 100 円、昼食は約 500 円） ※学生食堂は、学校の長期休暇には運営しない		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持って行くべきだったと思うものなど）		
キッチン、電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機、エアコン、床暖房 ※料理をするのであれば、料理器具 特に日本から持っていくものはない。 ※変圧プラグが必要になるため、家電は現地で購入した方が便利		
日常の買い物について		
韓国では、スーパーと市場に行っていた。特に韓国では、市場が発達しているため、安く材料を揃える事ができます。 ※モラン市場など		
現地での移動手段について		
バス、地下鉄、タクシー、徒歩 ※学校内ではシャトルバスが運行されている為、移動時は利用していた。 ※嘉泉大学では、地下鉄が直結しており、よく使っていた。		
休暇中の過ごし方について		

嘉泉大学は、立地や交通の便が良く、地下鉄を利用し世界遺産や観光地に出かけていた。

また、学校周辺には飲食店が多いため、友達と食事などをした。

【現地での授業について】

●授業全般について

一学期の最低履修単位（科目）数	☒ 有 ・ ☐ 無 ※有の場合（ 18 ）単位
語学学校のプレースメントテスト	☐ 有 ・ ☒ 無
授業の登録で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
特にありませんでした。 ※交換留学生は、担当の方が別途で申請リンクを送ってくださるので、履修したい科目名と番号を入力するだけです。	
学習量・授業のレベル・授業の形式・成績評価方法等について（沖縄国際大学と比較して）	
韓国語授業：学部授業（週5、3時間）、語学堂（週5、4時間） ※前期の時点で TOPIK 4 級以上を持っていれば、学部授業か語学堂に通うか選ぶ事ができる。 ※沖国と比べて授業形式は、変わりはないが、出席率もかなり重視していた。 ※授業によって違うが、韓国語授業は宿題が毎日のようにあった。 他学部授業：取りたいものを取る事ができる。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
交換学生の為に、バディープログラムと言語交換プログラムがあった。 ①バディープログラム：生活面や契約の手続きなどを手伝ってくれる。 ②言語文化交流プログラム：韓国人4名、交換学生1名のグループで互いの言語を学びながら文化を体験する。 ※友達を作る時に、この活動がおすすめ！	

●留学先大学で履修した科目について

留学先で履修した科目名	取得 単位数	沖縄国際大学で申請予定の科目名 ※わかる場合のみ記入	認定（予定） 単位数
한국문화콘텐츠의 이해 (前期、学部)	2		
외국인을 위한 한국어 문법 1 "	3		
외국인을 위한 한국어 말하기 1 "	3		
외국인을 위한 한국어 읽기 1 "	3		
외국인을 위한 한국어 듣기 1 "	3		
외국인을 위한 한국어 쓰기 1 "	3		
미디어로 배우는 한국어 (後期、学部)	2		
레저스포츠 2. "	1		
여름학기 4 급 (語学堂)	12		
가을학기 6 급 "	12		

- ・履修した科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。
- ・括弧書きで「履修した学期」と「学部授業または語学学校」を表記してください。

【今後留学予定の方への注意事項】

帰国生から提供されている上記の情報は参考情報です。単位認定が可能かどうかは所属学部教授会が最終的に判断します。

【留学の日程について】

- 留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
2月29日	現地到着
3月2日	結核検査 無料（嘉泉大学 第3学生生活館 駐車場）→寄宿舎に提出
3月4日	前期開始（9時：韓国語授業、11時：オリエンテーション、履修登録～3/6）
3月11日	外国人登録：団体申請～3/20
3月25日	言語&文化交換プログラム～6/7、春の学祭（2日間）
4月18日	外国人登録証 指紋認証
4月22日	前期 中間テスト～4/26
5月8日	春の学祭：한마음페스티벌
5月14日	外国人登録証：受け取り（グローバルセンター1階 国際ホール 準備物：パスポート）
5月29日	夏学期語学堂 開始
6月10日	前期 期末テスト～6/21
6月21日	嘉泉大学夏休み～9/2
6月27日	前期の成績発表～7/2
7月2日	夏学期語学堂 中間テスト～7/3
7月12日	夏学期語学堂 文化体験（ロッテワールド）7/22～7/26 語学堂休み
7月9日	夏学期語学堂 期末テスト～7/12 7/14 修了式
8月27日	沖国 韓国留学メンバーin 釜山旅行（1泊2日）
9月2日	秋学期語学堂 開始～11/15
9月3日	後期開始～12/12 終了（中間テスト10/21～25、期末テスト12/9～13）
10月4日	～5日秋のキャンピング（外国人留学生と1泊2日）
10月30日	～31日 秋の学祭：무한전야
11月28日	冬学期語学堂 開始～1/24
1月29日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額	
A. 渡航費（往復）		73,393	円
B. 海外旅行保険（1年）		144,020	円
C. 授業料（1年） ※沖国大に納める授業料は除く		0	円
D. 教材費（1年）		22,400	円
E. 生活費 (月額／年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	0 円（月額）	0 円（年額）
	食費	約 31,231 円（月額）	374,781 円（年額）
	交通費	約 5,791 円（月額）	69,490 円（年額）
	携帯代金	約 3,394 円（月額）	40,726 円（年額）
	交際費（娯楽代）	約 2,9390 円（月額）	353,680 円（年額）
	その他	約 9,422 円（月額）	113,069 円（年額）
	生活費合計	約 11,421 円（月額）	951,746 円（年額）
F. 留学生生活全体を通してかかった費用 (F = A + B + C + D + E)		1,191,559	円

● 留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
バイト+祖母 現地到着後、20万円程の現金を準備していた為、レートが良い明洞で換金をした。 学校の敷地内にある「ハナ銀行」で、日本のキャッシュカードからウォンを引き出した。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。 私達の年度は、日本円が円安だった為、過去の先輩の金額より20万円ほど多く準備しました。 また、日本の留学生は Wise という手数料が少ないアプリを利用していました。	

沖縄国際大学 国外協定校派遣学生 帰国報告書

派遣先大学	嘉泉大学	
留学期間	2024 年 2 月 29 日 ～ 2024 年 1 月 29 日	
所属学部・学科	総合文化学部社会文化学科	※沖縄国際大学での所属
留学出発時の年次	4 年次	※春学期派遣の場合は 4 月時点の年次

本文（3,000 字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

～留学前～

私が、海外留学をしたいと考え始めたのは大学 1 年次でした。理由としては、学生であるからこそ留学が自由にできて、且つ留学経験が大学卒業後の進路にも良い影響を与えると確信していました。1 年次では、具体的な留学先は決まっていなかったです。ですが、冲国での「学び」をある程度終えた上で留学したいと考えていたので 4 年次に留学する事は決めていました。そして、毎年行われる留学生帰国発表会に必ず参加するようにしていました。その後、大学 2 年次の後半から韓国留学について本格的に考え始めるようになりました。きっかけとしては、学科の授業でした。社会文化学科の科目には、アジア圏の文化や歴史に関する授業があります。私も受講をして、韓国について学びました。そこで、実際に韓国へ留学に行って、授業で学んだ事を実感したいと考えようになった事がきっかけでした。3 年次では冲国へ交換留学に来た韓国の学生と交流を通して大学の派遣先を決める形となりました。確実に韓国留学が決まり、早速後期からは外国語研究 I（事前学習）がありました。この授業では、発音練習や韓国で必要な大学用語など実践韓国語を学習しました。特にこの授業では、韓国・沖縄・日本や派遣先の大学についてミニ発表がありますが、留学の際、授業中や生活の中で役に立つ場面も出てきました。また、事前学習の一環で韓国語スピーチコンテストに参加しなければなりません。留学前に人前で韓国語を発表したと言う経験は、留学中の大きな役に立ちました。実際にスピーチコンテストを通して勇気が出たのか、留学中は、「間違っても良い」と言う精神で色々な方々と会話をすることが出来ました。

ここからは、留学前に必要な行動について詳細を書きます。まず、10 月頃からは派遣先大学の担当と連絡、アンケート、留学の書類作成などを行いました。12 月末頃にはビザ申請に必要な書類等が揃った為、1 月初めに「駐福岡大韓民国総領事館」に訪問し、2 日で申請と受け取りまで行いました。※日により異なる また、留学資金については、過去に留学した学生の資料を参考にしました。その後、留学までは特にやる事はありませんでした。

～留学中～ ※大まかな留学の流れやイベントなどをお話します。

さて、2/29 から韓国留学が始まりました。入国後は、派遣先大学のピックアップサービスを利用して寮まで行く事ができました。寮に到着後は、寮の手続きや設備確認を行い、後日学校内で結核検査や寮費の納入を行いました。また、3/4 から新学期が始まり、当日交換留学生のオリエンテーションも行われました。オリエンテーションでは、履修登録、外国人登録証、キャンパスツアーなど留学や学校についての細かな説明などが行われます。さらに、バディー制度や言語・文化交流プログラムなどイベント情報も一緒に教えてくれます。次の日から早速、学部の韓国語授業が行われました。授業と言うのもクラス分けです。私達の場合、クラス分けテストは行われず、先生との相談と TOPIK の有無や級で分けられました。私は、当時 TOPIK 4 級を取得していた為、「トピックバン」という高級レベルを目指す授業を受講する事になりました。また、嘉泉大学では TOPIK 4 級以上を持っている学生は、学部の韓国語授業か語学堂を選ぶ事ができます。その他、交換留学生は学部授業が 18 単位までの履修と決まっている為、韓国語の授業以外に 1 つ授業を受講しました。現地での授業は、全て韓国語で進行していく為、最初の数ヶ月間はついていく事がやっとでし

た。ですが、先生のゆっくりとした説明で細かなニュアンスの違いも把握する事もできました。特に、同じクラスであった友達も外国人なのでお互いに助け合いながら課題を進める事ができ、加えて韓国語での会話が必須なので、お互いの立場も理解し合い、韓国語のレベルを伸ばす事に役立ちました。その他、「韓国語の能力向上に関して役立った」と考える活動があります。嘉泉大学で行う「言語・文化交流プログラム」というものです。この活動では、日本語に興味ある韓国人学生と友達になる事ができ、日常会話の韓国語向上を目指す事ができます。その際、私の韓国語はまだまだ実力不足だったのですが韓国人の学生も理解してくれる為、楽に活動する事ができました。また、文化交流も兼ねている為、韓国の遺産や食など多種多様に学ぶことができる為、参加する事をおすすめします。

嘉泉大学では5月と9月頃に学祭が行われます。ご存知の通り、韓国では有名な韓国アイドルのライブや屋台の出店などもあり多くの学生も参加する為、留学の一つの思い出になると思います。私は、外国人の友達と学祭を見に行ったのですが、それぞれの国で楽しみ方に違いがありすごく新鮮でした。この様な新しい発見もできる機会だと思います。さらに、学祭以外にも普段から沢山のイベントが校内で行われていて、授業終わりでも楽しめる事が多かったです。5月の学祭が終わると6月期末試験と大学の夏休みに突入しました。

大学は、学部授業が終了し夏休みに突入しましたが、私の場合、夏休みの期間は語学堂に通う事になりました。語学堂は、春～冬学期（約3ヶ月）で1級～6級にクラスが区分されています。私は、4級クラスからの開始でした。学部と語学堂での授業の違いは、学部の授業より早く授業が進行される事です。さらに、語学堂では、大半の学生が韓国の大学を目指す学生である為、大学で必要な韓国語の技能を鍛える事ができると感じました。例えば、韓国語でのPPT作成なのです。また、学部授業より会話の時間を多く設けられている為、スピーキング能力の向上にもつながりました。その他、語学堂では、授業以外に文化交流の一環として、文化体験があります。私は、夏・秋・冬の語学堂に通ったのですが、学期毎に文化体験の内容やクラスメイトも異なるので、いい刺激をもらう事が出来ました。

大学後期からは、前期と同じ様にオリエンテーションや履修登録を行いました。特に後期では、前期に出来なかった学校主催のキャンプにも参加しました。1泊2日で外国人だけ参加するキャンプですが、交換学生以外に学部生も参加する事ができます。また、嘉泉大学では日本人が少ない為、他の生徒から声を掛けてもう事も多く、友達を作る良い機会でした。その後、後期は授業でお世話になった先生との食事会など友達以外にも先生との関わりを多くできた時間でした。

また、学校以外での時間も充実していました。例えば、同時期に韓国留学をした沖国生と釜山旅行に行った事や外国人の学生とミニ旅行など、時間を有効活用して様々な場所に訪れる事が出来ました。約1年間で長期間であったにも関わらず、韓国でまだまだやりたい事がつきません。その為、留学前にも留学中でもやりたい事を見つけたり、考えながら過ごしてもいいかもしれません。

～留学終了後～

約一年間の留学を終えて、学業面では様々な知識も増えましたが、何より自分自身の変化に繋がったと考えます。その変化というのも、やはり物事を考える姿勢だと思います。留学以前には、「最初からできないものは、やらない」という考え方でした。ですが、留学を通して、知り合いもいない、知らない土地、拙い韓国語での会話など不安な要素があっても何かを変えなければいけないのは自分しかいない為、出来なくても、失敗しても良いから挑戦する考えが身に付く様になりました。実際に、その精神が身に付いたからこそ、初めて会った人にも声をかけ、1人で外部のクラブ活動に参加する事もできるようになりました。また、交流の幅も広げる事ができたので良い変化でした。

次に、留学のおかげで視野を広げる事も出来たと感じています。初めて、外国に住み、外国人として約1年間現地で暮らす事で、現地でのルールや日々発見する問題など実際に外の世界に出て見ないと、気づく事ができないと感じました。さらに、現地で出会った様々な国の人と交流を通して、「留学」というものは単に語学を学びに行くだけでは無いのだと改めて気づく事も出来ました。様々な国の状況や思考など「なぜこうなんだろう」と自然に考えさせられる機会も多くあり、同時に日本に対する反応も感じる事ができました。自分からは見えない一面を他の人、或いは他国は感じ、考える事ができる為、良いスキルを身につける事が出来たと感じています。

そして、人との繋がり大切さを学ぶことも出来ました。初めて寮生活であり、一人暮らしの様な状態でした。そんな状態の中でも、一緒に生活する友達や出会った友達同士で悩みを解決しあい、小さな事に対してもそれぞれがお互いを理解して、乗り越えることができたのだろうと考えます。改めて、身近な人への支えによって暮らしているのだと感謝しありません。

私が持つ留学の様々な経験や知識が、留学を目指す後輩達に何らかの形で支えになればいいなと考えています。留学をする事は、怖いと感じる方はいると思います。私も留学前は、すごく不安でした。ですが、全て自分の選択で大きく変えることが出来るし、今いる場所よりも大きな変化をもたらしてくれる事だと実感しました。私もその 1 人だと確信しているので、是非経験として留学をするべきだと思います。

最後に、私はまだ確実ではありませんが将来、国家公務員である「出入国管理官」を目指したいと考えています。留学前は、「空港での職務」という漠然としたものでした。ですが、留学先での日本人留学生の少なさ、外国人との交流を通し、「私が日本人である事の意味」を考えるきっかけや誇りになりました。その為、私は、「出入国管理官」を目指し、「日本の顔」となり誇りある仕事に就きたいと考える様になりました。

添付資料



The poster is for the 'Language & Culture Exchange program' at Gachon University. It features a yellow background with green and red text. At the top, it says '2024-1 Exchange Student - Korean Student'. The title 'Language & Culture Exchange program' is in large, bold letters. Below the title, it lists details: Activity Period (3.25(Mon) - 6.7(Fri), 2024), Target Language (English, Japanese, Chinese etc.), Applicant (Buddy(Exchange Student) 1, Buddy(Korean Student) 4, => One team), Application Period (~ 3.8(Fri), 2024), How to apply (Be accepted by E-mail, gachon.ac.kr), and Benefits (KRW 1,000,000 for the first semester, KRW 1,000,000 for the second semester). At the bottom, there are five cartoon characters representing different cultures.

가천대학교 국제어학원

2024-1
Exchange Student - Korean Student

**Language & Culture
Exchange program**

Activity Period 3.25(Mon) - 6.7(Fri), 2024

Target Language English, Japanese, Chinese etc.

Applicant Buddy(Exchange Student) 1
Buddy(Korean Student) 4
=> One team

Application Period ~ 3.8(Fri), 2024

How to apply Be accepted by E-mail
gachon.ac.kr
or gachon.ac.kr/exchange-program
or gachon.ac.kr/exchange-program

Benefits KRW 1,000,000 for the first semester
KRW 1,000,000 for the second semester

言語・文化交換プログラム



가천건강증진센터 이용수칙

- 운영시간은 07:00~09:00 / 17:30~21:30입니다.
- 이외의 시간은 체육학부(체육전공,태권도전공)만 이용할 수 있습니다.
- 주말 및 공휴일은 휴무입니다.
- 입장 시 명부 작성 후 운동 부탁드립니다.
- 미착상 적발 시 1회 경고, 2회 당일 이용 불가, 3회 이용 영구 불가
- 동시시간대 최대 이용자 수는 80명입니다.
80명 초과시 이용불가능함을 알려드립니다.
- 실내 전용 운동화를 착용해 주시기 바랍니다.
- 실내화, 슬리퍼 착용 시 출입이 제한됩니다.
- 운동 후 다음 사람을 위해 사용한 기구, 원판, 매트 정리 부탁드립니다.
- 탈의실 띠카는 일일 사용만 가능합니다.
운동 후 본인 짐을 모두 정리하시기 바랍니다.
- 본인의 부주의로 인한 도난 및 보실은 책임지지 않습니다.
- 환기 시 방충망 있는 쪽 창문을 열어주시기 바랍니다.
- 본 시설은 가천대 체육학부 체육전공의 소유입니다.
주변에서 사용해주시길 부탁드립니다.



가천대학교 체육학부 체육전공
Gachon Univ. Physical Education

学内ジムの利用案内

沖縄国際大学 日本語教員インターン 帰国者アンケート

留学先大学	マカオ大学
留学期間	2024 年 01 月 04 日 ～ 2024 年 12 月 17 日
所属学部・学科	英米言語文化学科 ※沖縄国際大学での所属学科
卒業年度	2022 年度

【留学成果報告】

● インターンシップ留学の成果について記述してください（自由記述）

留学期間を通して語学レベルはどれくらい上がりましたか？

所感で構いませんので留学開始時と帰国時の違いを記述してください。

インターン開始当初は英語を話すことに自信がありませんでしたが、いろいろな国の学生と交流し、多くのアクセントに触れることで、いろいろな英語に慣れることができました。自分からどんどん留学生たちとご飯を食べに言ったり、週末出かけたりすることで英語に触れる機会を増やしていくことが大切だと思いました。特に、インターン生は普通の留学生たちとはスケジュールや、住んでいる寮が全く異なります。大学院生の寮は学部生が住む寮に比べ、学生同士の交流イベントもなく、友達を作ることが学部生に比べて難しいです。そのため、自分からクラブ活動に参加したり、履修できる授業を取ったり、イベントに積極的に参加することをお勧めします。私もとても仲良くなった友達が何名かでき、そのおかげで英語のスピーキング能力とリスニング能力が上がったと思います。スピーキングに関しては、自分が言いたいことを文法などを気にせずに言うようになり、テキストの際も翻訳をほとんど使うことなく会話ができるようになりました。

どのような目的を持って留学しましたか？その目的はどの程度達成することができましたか？

私は 2022 年度に卒業後、社会人として働いていました。しかし、今後の将来を考えたときに、学部時代に取得した日本語教員養成課程を活かした仕事に就きたいと思い、当時のゼミの担当教員に相談したところ、このインターンシップに参加できることになりました。私自身、仕事を辞めての参加だったため、インターンシップ終了後の進路、または就職を明確にするためにこのプログラムに参加しました。

約 1 年間、マカオ大学でインターンとして授業を担当したり、学生と関わったりする中で、大学で日本語教師として働きたいと思うようになりました。主に担当した授業は会話の授業だったのですが、授業外にも、学生の会話レベル向上を目的とした「おしゃべり広場」や、日本と中国、マカオの異文化交流を目的とした「ふれあい広場」の企画を毎週考え、実施しました。このような経験を経て、大学で日本語教師として働きたいという目標ができました。今後は沖縄国際大学大学院の後期日程の入学試験を受験する予定です。来年度入学することができた際には奨学金を受け取れるほど勉学に励みたいです。

その他、1 年を通し学んだことや成長したことなど留学の成果や今後の目標を記述してください。

インターンシップ参加当初は、パソコンもうまく使うことができず、担当教員の先生方に迷惑をおかけすることが多くありました。また、PPT やワークシートの作成もうまくできず、教案作成に多くの時間を費やしました。学生が分かりやすいような説明の仕方、語彙コントロール、グループ活動案の提案など、1 年間で多くのことができるようになりました。

私はインターンシップに参加する前に、日本語学校で 1 か月半ほどアルバイトを経験しました。日本語学校の授業の進め方とマカオ大学の授業の進め方は全く違い、日本語学校では「みんなの日本語」を教科書に沿って進める文法中心の授業をし、マカオ大学では会話の授業を担当しました。インターンシップ参加前は何を意識して学生に日本語を教えるかを理解しておらず、目の前のことをこなすことに必死になっていましたが、マカオ大学でのインターンシップを経て、学生目線の話し方、教材作成などを身につけることができたと思います。

今後は先述した通り、沖縄国際大学大学院に進み、日本語教育についてより学びを深めたいです。

【出国前の手続きについて】

●事前研修について

事前研修で役立ったこと ※理由も含めて記入	事前研修では、担当教員の先生と「みんなの日本語」について1課～50課までの大まかな内容を確認しました。教えることが難しい課や、動詞の活用などについて研修し、実際のマカオ大学での教案作成時に役に立ちました。また、以前インターンシップに参加した先輩にも直接話を聞くことができ、だいたいのイメージをつかむことができました。
--------------------------	--

●ビザについて

ビザの種類	学生ビザ
申請から発行までかかった期間	14 日程度
申請時期	☐ 渡航前 ・ ☒ 渡航後
申請にあたって注意すべきこと ※必要書類、費用、予防接種や健康診断書の有無など	ビザは大学に到着後、大学が指定した日程で他の交換留学生たちとビザを申請しに行きます。証明写真、入学許可証、パスポート、パスポートのコピー、健康診断書、入国時の白い紙が必要書類です。

●出発準備について

荷物の発送方法 ※荷物の発送方法、時期、宛先など
荷物は国際便なので、多く見積もって到着に2週間程度時間がかかります。住所の宛先は入寮する寮の住所です。 例 University of Macau, SX(your room number) Avenida da Universidade, Taipa, Macao, China.

●出国にあたって

渡航経路 ※経由国や空港名、大学最寄の空港からの移動手段と所要時間など
那覇空港⇒香港空港⇒B4 のバスに乗って香港口岸に行く⇒出国手続き⇒港珠澳大橋（Hongkong-Zhuhai-Macao Bridge）を通るマカオ行き専用バスに乗ってマカオ口岸に行く（65 パタカ）⇒マカオ口岸で入国手続き⇒101X か 102X のバスに乗ってバスターミナル（亞馬喇前地 Praca Ferreira Amaral）（6 パタカ）に行く⇒71 か 73 のバスに乗ってマカオ大学へ行く
出迎えサービスの有無と申込方法 ※申込先、申込時期など
私の場合は、私より先にマカオ大学へ交換留学生として滞在している学生がおり、連絡を取り合い、バスターミナル（亞馬喇前地 Praca Ferreira Amaral）まで迎えに来てもらいました。他の学生は、マカオ大学の学生課の Sandia さんという人が日本語学科の学生と、新しく来る日本人留学生の LINE グループを作り、日本語学科の学生がタクシーで迎えに行っていました。（沖縄からマカオ空港の便はないため、迎えは自分で頼むか、自力で大学へ行くことになると思います）しかし、迎えに来てくれる学生は自費で来てくれるため、不満の声を聞いていました。
その他出発前に準備しておくべきこと
生活に必要なものは現地でほとんど買いそろえることができます。普段飲んでる薬などはきちんと持って行った方がいいです。また、私はマカオの水が合わず、湿疹のようなものができたので、薬局などで塗り薬を買って持っていくことをお勧めします。また、マカオ大学は水辺に近いこともあり、蚊のような虫が雨期に多く発生します。虫よけスプレーを必需品です。また、マカオはキャッシュレスで QR 決済がほとんどです。インターン生は特に現地に到着してすぐに口座開設をします。そのためにマイナンバーカードの提出が必須になるので、忘れずに持っていきましょう。

【到着直後の手続きについて】

●現地でのオリエンテーションについて（オリエンテーションが提供されていた場合のみ回答してください）

参加したオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
参加していません。
参加しなかったオリエンテーションにはどのようなものがありましたか？ ※日程、内容、提供機関など
1月4日に校内を案内するオリエンテーションがあったらしいのですが、私は1月4日の夜に到着したため、参加できませんでした。
その他、到着後に行った手続きについて ※滞在許可書の申請、銀行口座の開設など
マカオ大学からメールで送られてくる入寮についてのアンケートを入力し、最後の画面をスクリーンショットして保存する⇒入寮手続き⇒学生証の作成（翌日の15時以降に受け取り）⇒中国銀行の口座開設⇒後日指定された日にビザを申請しに行く

【留学先大学の施設環境について】

●留学先大学の環境について

日本、または他国からの留学生数（割合）について（※もし、わかれば）
他大学インターン生同士および現地同僚、現地学生との交流について
他国からの留学生は1セメスターで40～50名ほど。マカオ大学の全体の割合としては、マカオ出身者が約50%、中国本土出身者が約46%。日本語学科は1/3の学生が中国本土出身の学生です。交換留学生との歓迎パーティーがあるので、そこで友達を作ることができます。また、同性であれば、インターン同士でルームメイトになるように日本語学科のコニーさんが手続きをしてくれます。
大学の施設・設備について ※どういった施設・設備が設置されているか（使用可能か）
PCの有無と使用について ※PC教室の有無と授業等におけるノートPCの持ち込みの必要性について
インターン室にパソコンはありますが、主に印刷専用で使用します。そのため、自分のパソコンを持っていくことは必須です。また、USBも必ず持っていくことをお勧めします。iPadがあるのであれば、持っていくと授業の際に便利です。（新しく買う必要はなし）

●危機管理について

大学構内・大学周辺・滞在先の治安状況について ※注意点など、アドバイスも含めてご記入ください。
大学構内、周辺、マカオ市内はとても安全と言えます。女性が夜に一人で出歩いても全く問題がないです。バスも24時間運航しているため、いつでも大学へ戻ることができます。
保険について ※留学先大学が提供するものの有無、加入した保険の内容等についてご記入ください。
保険は出国前に自分で海外保険に加入しました。私は「ほけんの窓口」海外保険に加入し、20万円ほどかかりました。また、到着後にマカオ大学の保険の支払いもあります。私は前期と後期に120パタカずつ支払いしました。

【住居および生活について】

● 留学中の住居（滞在先）について

滞在先①	住居種別	☒ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	0 円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☒ 年 ）
	支払い時期と方法	入寮時にデポジット 1000 パタカを払いますが、退去時に返却されます。
滞在先② ※転居した場合	住居種別	☐ 寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
	費用	円（ ☐ 月 ・ ☐ 学期 ・ ☐ 年 ）
	支払い時期と方法	
この住居のメリット・デメリットはありますか？		
インターン生は住居費がかからないため、節約することができます。水道光熱費は支払う必要がありますが、インターンが終了し、退去する際にまとめて支払います。私の場合は夏にクーラーを使用しすぎたため、全部で 2400 パタカほど支払いました。		
食事はどのように手配していましたか？ ※寮で提供される、自炊、外食など具体的に		
マカオは物価が高いので、スーパーで食材を買い、ほとんど自炊をしていました。インターン生の入寮する大学院生の寮（S1～4）には食堂がありません。他の寮には食堂があり、モーニング、ランチ、ディナータイムの決められた時間には^⑤度の寮にも入り、食事をすることができます。また、カフェやフードコートは朝早くから、夜の 21 時頃まで営業しています。		
どのような家具・日用品が用意されていましたか？		
購入する必要があったものは何ですか？		
日本から持っていくべきものはありましたか？（実際に便利だったもの、持っていくべきだったと思うものなど）		
ベッドマット、勉強机、クローゼット、部屋内にお風呂とトイレがあります。キッチン共有で、同じ階に住む学生たちとシェアします。ベッドシーツ、枕カバーのセットになっているものが学内のモールに売っています。また、ドライヤーなどは電圧が合わないことがほとんどだと思うので、現地で購入したほうが良いと思いました。私は到着したその日にドライヤー、シャンプー、リンス、ボディーソープ、タオル、は町のスーパーで購入し、ベッドシーツなどは学内で購入しました。調味料は日本から持って行った方がよいと思います。		
日常の買い物について		
町の San-miu、来来、Grand mart(日本食スーパー)、で購入していました。2024 年 11 月 30 日に中国本土へのビザフリーが施行されてからは、珠海で買い物をしていました。（マカオに比べて物価がとて安い）		
現地での移動手段について		
主にバスで移動していました。学生用のマカオパスを使用すると 1 回の乗車で 1.5 パタカ（約 30 円）ほどで乗車でき、1 時間以内乗り換えだと無料で乗り換えをすることができます。学生用のマカオパスでなくても 3 パタカで利用でき、現金だと 6 パタカで利用することができます。		
休暇中の過ごし方について		
大学で仲良くなった正規学生や他国からの交換留学生、日本人留学生、または日本語学科の学生たちと週末出かけたり、旅行に行きました。夏季休暇は日本に帰国し、新学期が始まる 1 週間前にはマカオに戻り、仕事が始まりました。		

【現地で関わった授業について】

●授業全般について

一学期の授業数	3
一年間の授業数	3
授業の指導計画で困ったことはありましたか？ あった場合、どのように解決しましたか？	
私自身、教案やPPT, ワークシートなどを作成した経験があまりなかったため、インターン当初はすべてに苦戦しました。担当教員の先生方のPPTなどすべてを参考にし、わからないところは直接聞き、解決していきました。また、授業で失敗した部分を次の授業で活かし、授業のイメージをしながら、次第に教案作成ができるようになりました。	
受講学生の日本語レベル・学習量および授業の形式・成績評価方法等について	
入学したばかりの1年生は既修者～0初級の学生までおり、レベルはすごくばらばらです。2年生以降になると初級後半～中級前半ぐらいのレベル、3年生以降になると中級前半～中級後半ぐらいのレベルになります。1年生も前半が終わると授業はほとんど全て直接法になります。日本語学科の学生は難しい語彙を知っている学生も多く、レベルの高い学生が多いと思います。入学時にすでにN1を取得している学生もいました。	
クラブや課外活動について ※参加の有無、内容など	
マカオ大学は多くのクラブ活動があり、私はダンスサークルに参加していました。週に1回か2回（金曜か土曜の19時～21時）ありましたが、セメスターによってスケジュールが変更します。他の日本人留学生もバンドや空手、サッカーなど様々な活動に参加していました。ダンスサークルはお金はかかりませんでしたが、空手に参加していた学生は、ユニホームの購入がありました。	

●インターン先大学で担当した科目について

科目名	時間数/週
2024/01/29 みんなの日本語 第25課 (1年生後期)	2コマ (75分×2)
2024/03/15 説明しよう (2年生後期)	2コマ (75分×2)
2024/04/30 ディスカッション (2年生後期)	2コマ (75分×2)
2024/09/15 みんなの日本語 第3課 (1年生前期)	2コマ (75分×2)
2024/10/18 みんなの日本語 第8～10課 復習 (1年生前期)	2コマ (75分×2)
2024/11/12 ビジネスジャパニーズ (3年生前期)	2コマ (75分×2)

- ・ 科目名は、外国語で表記しても、日本語で表記しても構いません。

【留学の日程について】

●留学中のスケジュール（学期開始／終了、試験、休暇、イベントなど大まかなスケジュールを記入してください）

日程	スケジュール
1月4日	現地到着、学期開始
1月5日	仕事開始（本来は1/4から）、留学生歓迎パーティー
1月14日	マカオ大学 オープンデイ
2月4日	旧正月（2/4～2/18）
3月27日	Language & Culture day
3月16日	中間テスト期間（クラスによってスケジュールが異なるが、インターン生の仕事は特になし）
3月29日	イースターホリデー（3/29～4/1）
4月30日	後期クラス最終日
5月4日	期末テスト期間（5/4～5/17）
5月30日	Farewell party
6月3日	夏季休暇 開始
8月12日	仕事開始
8月19日	前期開始
8月30日	The International Night
10月上旬	中間テスト期間（クラスによってスケジュールが異なるが、インターン生の仕事は特になし）
11月30日	前期クラス最終日
12月2日	Farewell party
12月5日	期末テスト期間（12/5～12/18）
12月17日	日本帰国

【留学費用について】

- 留学費用の内訳について（金額は大まかな目安で構いません） ※算用数字で記入すること。

費目		金額	
A. 渡航費（往復）		50000	円
B. 海外旅行保険（1年）		200000	円
C. 教材費（1年）		0	円
D. 生活費 (月額/年額)	滞在費（家賃・水道代・電気代等）	? 円（月額）	48000 円（年額）
	食費	20000 円（月額）	200000 円（年額）
	交通費	2000 円（月額）	20000 円（年額）
	携帯代金	700 円（月額）	7000 円（年額）
	交際費（娯楽代）	20000 円（月額）	180000 円（年額）
	その他	円（月額）	円（年額）
	生活費合計	42700 円（月額）	455000 円（年額）
E. 留学生生活全体を通してかかった費用 (E = A + B + C + D)		705000	円

● 留学費用について

費用の準備方法	※現金・クレジットカード等の支払い方法、日本からの送金方法など
口座開設をし、最初のお給料が入るまでは基本的に現金やクレジットカードでの支払いになります。毎回クレジットカードで支払うと手数料がかかってしまうので、最初はある程度現金を持っておくことをお勧めします。また、大学内の ATM でもお金をおろすことができます。香港へ旅行する際には地下鉄料金の支払いは VISA のタッチ決済ができるカードがあると便利です。	
留学費用に関して、今後の留学生へのアドバイスをお願いします。	
インターン生は毎月お給料をもらうことができますので、基本的にお金に困ることはありません。自炊を多くすることで貯金をすることもできます。連休や長期休暇で旅行に行くこともできるので、その分のお金を用意しておくといいと思います。	

沖縄国際大学 日本語教員インターン 帰国報告書

派遣先大学	マカオ大学		
留学期間	2024年01月04日～2024年12月17日		
所属学部・学科	英米言語文化学科	※沖縄国際大学での所属	
卒業年度	2022年度		

本文（3,000字以上）

※内容はアンケートと重複しても構いません。今後、留学を目指す方にとって参考となるような報告書の作成を心がけてください。

今回のマカオ大学での日本語教員インターンシップを経て、私自身できるようになったことが多くあります。教案やPPT、ワークシートの作成など、インターンシップ前のもものと比べると、学生目線のわかりやすいものを作成できるようになったと思います。また、インターンの基本的な仕事をこなすことの他に、各担当教員の先生方、それぞれ仕事のスタイルが違い、相手のことを考えて質問や教案の提出のタイミングをすることなども学びました。私は1年間を通して3人の担当教員の先生方とお仕事をする機会があり、それぞれの先生方から多くのことを学びました。社会人として働く際には、いろいろな人の下で働くことになると思います。このインターンを通してそのような経験をできることは大学生にとってとても貴重な体験だと思います。また、簡単なことですが、担当教員の先生方とメールでやり取りすることも多かったため、メールの書き方もわかるようになりました。

インターンは基本的に1、2年生の会話の授業を担当することが多く、「みんなの日本語」に沿って会話の授業を行うため、インターン参加前にすべての課に目を通しておく、授業準備をより効率化することができます。また、学生への語彙コントロールが特に難しいのですが、各課の既習単語や文法をきちんと把握することで、学生への言葉を適切に選ぶことができます。そうすることで学生の授業の理解度が上がり、授業を進めやすくなります。会話の活動を考えることは、インターンに参加するまでにあまり経験することがないため、最初は学生が活動をするイメージをすることが難しいと思います。授業前に自分が授業をする予定の教室を見に行く、学生からどんな質問が来るか予想する、学生がどんなミスをしやすいか予想し、答えを用意しておくなど、実際の授業をイメージして授業準備に取り掛かることが大事です。授業前に担当教員の授業を見学することができるので、その際にしっかりメモを取り、わからないことがあれば積極的に質問することが大事です。授業は2コマずつ行うので、セクション1で失敗したことはセクション2で改善し、その日できなかったことは、次の授業でできるようにきちんと準備しましょう。失敗しないように準備をすることも大事ですが、インターン生だからこそ失敗ができます。たくさん失敗や成功を経験し、よりよい授業を作る糧にしましょう。

さらに、最後の授業は3年生のビジネス日本語を担当しました。これまで行った会話の授業の進め方とは違い、また、担当教員の先生もインターン生を担当することが初めてだったため、ミーティングの際にたくさん質問をしたり、普段の授業の進め方を念入りに聞いたりなどをして、授業のイメージをしながら当日に臨みました。担当した3年生は、先学期の2年生の会話の授業で関わっていた生徒だったため、最後に彼らの授業を担当することができて本当によかったです。会話の授業ではあまり発言をしなかった生徒が積極的に発言をするようになっていたり、難しいビジネス用語も理解していたり、学生の成長を見ることができ、とてもうれしかったです。ビジネス日本語の授業を準備するにあたって、敬語のルールの確認をしたり、ビジネス用語を念入りに調べたりなど、会話の授業とはまた違った経験をすることができました。

授業以外にも、学生の会話レベルの向上を目的とした「おしゃべり広場」、日本と中国、マカオの異文化交流を目的とした「ふれあい広場」をそれぞれ週に1回ずつ行いました。どちらも毎回テーマを決め、学生がより興味を持ちそうなものを取り上げ、活動を行いました。おしゃべり広場では「漫画・アニメについて」、「好きな音楽について」などのテーマの参加人数が多く、ふれあい広場では「カラオケ大会」がとても人気でした。日本人留学生も交えて活動することも多

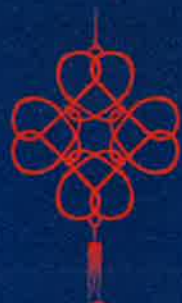
く、学生と共にインターン生も一緒に楽しんで毎回の活動を行うことができました。授業以外で学生と関わることができ、インターン生は日本語学科の講師、教授の方々とはまた違った立場で学生と接することができ、インターン生にしかできない、すてきな仕事ができたとと思います。休日にも学生たちと出かけたり、学校外のカラオケに行ったりなど、とても楽しい時間を過ごすことができました。

また、これら以外にも大学のオープンデイ（オープンキャンパス）や Language&Culture day というイベントに参加しました。オープンデイでは、日本語学科のブースで出展されているゲームの補助をしました。小さい子からお年寄りまで様々な年代の方々がマカオ大学を訪れており、日本のオープンキャンパスとは違っていても面白かったです。また、Language&Culture day では、日本語学科が所属する FAH(Faculty of art Humanity)で行われ、各学科から個性的な出し物があり、日本語学科からは YOASOBI のアイドルを踊りました。振付をインターン生が担当し、パフォーマンスの学生たちと約 1 か月かけて練習をしました。当日はその日一番の大盛況に終わり、学生たちも達成感で一杯の表情でした。この練習期間で学生達との仲もぐっと縮まり、いい思い出ができました。さらに、11 月にマカオ大学で行われた第 1 回マカオ大学国際シンポジウムにも受付と写真撮影という形で運営に携わり、堀井薫先生をはじめ、ナロック・ハイコ先生、石黒圭先生の 3 名の貴重な講演を聞くことができました。内容は守拙と従属節の連続性、係り結びやフィラーについてなどで、すべてを理解することは難しかったのですが、3 名の先生方の研究発表を通してたくさん学ぶことができたのでよかったです。分科会でもその他の研究者の皆さんの発表を聞き、当たり前の感想ですが、日本語研究には様々な分野の研究があることが分かりました。私が疑問にも思わなかったことが研究されており、1 つの問題を解決するために膨大な資料集めや、分析などの時間が費やされているということが分かりました。私たちが簡単にインターネットや本で探することができる情報は、研究者の皆さんが時間をかけて見つけ出した答えだということをこのシンポジウムで感じることができました。

マカオ大学内には多くの充実した施設があります。（銀行、郵便局、ジム、プール、カフェ、コンビニ、モールなど…）図書館も夜遅くまで空いており、24 時間空いている学習スペースもあります。大学の敷地はとても広いですが、シャトルバスもあり、移動も便利です。学生寮がたくさんあり、寮ごとにアクティビティや学食のメニュー、施設などが違い、各寮にはモーニング、ランチ、ディナータイムには入ることができるため、それぞれの寮の学食を食べ比べすることも楽しいです。

また、マカオ大学が留学生向けに行うフードフェスティバルやインターナショナルナイト、Farewell part などとても楽しく、友達を作る機会もたくさんあります。特に、新年度に行われるインターナショナルナイトでは、各国のコスチュームを着ての参加でした。私たちは浴衣をそれぞれ持ち寄り、参加したのですが、とても好評でした。また、他の国の伝統衣装も見ることができ、みんなでダンスをしたり、食事をしたりなどとても楽しかったです。フードフェスティバルも各国の伝統料理が出店され、私たちはおにぎりとおはぎ、豚汁を作り、出店しました。他国からの交換留学生からとても好評ですぐに売り切れてしまいました。このように日本の文化を紹介したり、他国の文化を知ったり、有意義なイベントが多くあります。また、マカオ大学はとてもお金持ちの大学なので、テスト期間の前になると、無料でタピオカジュースやスイーツなどを配るイベントがあります。Instagram や WeChat で情報をうまく収集し、このようなイベントにもうまく参加することで美味しい食べ物をゲットすることもできます。

マカオでの生活は不自由なことはほとんどなく、交通機関も日本に比べてとても安く、マカオはとても小さいので観光もすぐできます。ポルトガルの植民地だったということもあり、いろいろな文化が混じっていてとても面白いです。世界遺産も多くあり、香港へもバスで行くことができるので週末に旅行もできます。また、2024 年 11 月 30 日から中国本土へのビザの申請が不要になったため、簡単に旅行に行くことができるようになり、さらに行動範囲が広がり、これよりさらに充実した留学生活を送ることができます。中国本土出身の学生、マカオ本土出身の学生、他国からの留学生もみんなとても親切で、留学終了後も連絡を取り合いたいと思える友人も何名か作ることができました。マカオ大学への留学経験は私にとって、とても貴重な体験であり、ぜひ今後マカオへ留学する学生にもこのような素晴らしい体験をしてほしいと思います。



マカオ大学

インターンシップ

作成年：2024年



目次

1. マカオってどんなところ？
2. マカオで生活する上で必要な物
3. マカオ大学に到着してからの手続き
4. 寮について
5. 生活面について
6. インターンの仕事について



1. マカオってどんなところ？



澳門

世界遺産(聖ポール天主堂跡、セナド広場等)、文化遺産、古いお寺、LISBOA、などの娯楽施設、ホテルなどがある。北へ行くと中国(mainland)との境目がある。



タイパ

日用品、生活用品、自炊するのに必要な食材などが購入できるスーパー、タピオカミルクティー屋さん、パン屋さんが点在している。



コタイ

大きいショッピングモールを兼ねたカジノ(venetian, Parisian...etc)、観光地がある。



コロアン

ハクサビーチ、カラフルな家、パンダ公園、山などの観光地がある。

2. マカオで生活する上で必要な物

衣類

- ・Tシャツ(カジュアルでないもの)
- ・お出かけ用の服(カジュアルな服)
- ・スーツ上下
(スーツではなくても、
きちんとした仕事着ならOK)
- ・下着
- ・パジャマ

日用品

- ・日傘、傘
- ・コンタクト(洗浄液など)
- ・スキンケア用品
- ・バスタオル
- ・薬(便秘薬、痛み止め、
ビタミン剤など)
- ・日焼け止め
- ・虫刺され薬、虫よけ

仕事で使うもの

- ・筆記用具(消せる赤のボールペン必須)
- ・パソコン
- ・USB(容量の大きいもの)

豆知識

※現地で大抵のものは買えます。本当に買っておく必要があるのは、薬、普段自分が使っているものだと思います。

※服は淘宝(タオバオ)という

アプリで買うことができます。

アプリ⇒



※インターンシップ引き継ぎのものの中に炊飯器、IH、食器などがあるので自炊できます。マカオは物価が高いから、自炊がおすすめです！この1年で料理マスターにもなれる！

※デリバリーをしたい時は、「m food」「閃蜂」がおすすめ



3.マカオ大学に到着してからの手続き

●入寮手続き@S3-G003

必要な物：パスポート、証明写真、大学受け入れ許可証、学籍番号などが書かれているメールの写し

①S3 - G003へ行き、「必要な物」を受付スタッフに提出(S3の受付スタッフは日本語を話せる人が1人だけいますが、基本的に日本語、英語を話せる人が少ないです。翻訳機用意しておくのがおすすめ！)

②スタッフが出してくる書類にサイン。(緊急連絡先、電話番号等)

③ルームキーと部屋の状態チェック表をもらう。

④寮の部屋にチェック表を置いて、チェック表を記入し、S3 - G003に提出。

※大学内の施設/建物内に入る際、必要になるのが『学生証 (students card)』で、自分の部屋に入る際、必要になるのが『ルームキー』。カードを入れるケースを日本で買っておくととっても便利！

※部屋の状態チェック表は、3日以内に提出。(可能なら、すぐチェックしてすぐ提出するのがオススメ)



学生証



ルームキー

●学生証をつくる

@N6の受付カウンター(入ってすぐ)

必要な物：健康診断、保険に関する資料、パスポート

※日本から持ってきた資料は全部持って行った方がいい

- ①『学生証(student card)』を作りたい、と受付スタッフに言う。
持っている書類をスタッフに一通り見せる。
- ②スタッフから渡された書類を記入する
- ③見せられる書類に正式な学生番号が書かれているので、一応
写真を撮っておく。
- ④渡される書類は大事なもの(ユーザー名、パスワード等)なので、
大切に保管するようにしておく。
- ⑤学生証の写真を受付スタッフにとってもらう。
- ⑥出来上がり次第、取りに行く。

※学生証がいつ出来上がるか、スタッフに確認
(5:30に受付は閉まる)

※ユーザー名、パスワードをWIFI(UM_SECURED_WLAN)に入力
し、自動接続できるようにする。

※ユーザ名等をマカオ大学のホームページに登録

住居証明書の申請@S3 - G002

必要な物：学生証

- ①Testimonial(住居証明書)が必要だと伝えて、学生証を見せる。
- ②いつ出来上がるのかを聞く。
- ③指定された時間になったら、同じ場所に取りに行く。

※住居証明書は事務所が保管するため、もらうことはできない。
しかし、ビザ申請時に住居証明書があるかどうか聞かれるので、
出来上がったものの写真を撮っておく。

●学生証のルームキー化

@E21 - FAH3F コニーさんの事務所

必要な物：学生証

コニーさんに指示された通りに進めること。ルームキー化するのは4Fの事務所で、そこにいるスタッフの指示通りに書類等にサイン。

住居証明書が出来上がったら、中国銀行の口座開設と学生用マカオパス申請、ビザ申請。

●中国銀行 口座開設@S8

必要な物：パスポート、マイナンバー番号の控え、住居証明書、 入国時の白い紙

①手続きに必要な書類をサイン。

②10日後、PCでパスワード入力、お金を下す時の暗証番号などの設定の手続き。

※パスワード設定が2段階ほどあるので、重要だと思える箇所はスマホで写真を撮っておく。

●ビザ申請@タイパの大きい治安警察局

※実際にビザ申請に行く前にE31 - 3FのSandiaさんのところでビザ申請に必要な書類を提出する。後日メールが来るので、指定された日程でビザ手続きを行う。

必要な物：パスポート、パスポートコピー、証明写真、入国時の白い紙、申請用紙(メールに添付されているor Sandiaさんから何かもらったもの)

①入ってすぐのチケットカウンターで要件を伝えて、番号の紙をもらう。(例：B6)

②Bの待合室のような場所で待ち、自分の番号(B6)が呼ばれるのを待つ。

③呼ばれたら、スタッフの指示通り、書類にサイン。

●学生用マカオパス(毎1.5mop)の申請

マカオパスってなに？

マカオパスはマカオでバスを乗る際に必要になるカードのことです！バスだけでなく、買い物をする時も使えるから必須アイテムです！通常だとバスに乗るたびに3 mopかかるところ、学生用マカオパスに申請すると1.5mopで乗車できるから学生用マカオパスをつくることをあすすすめします！

必要な物：パスポート、学生証、すでに持っているマカオパス(毎3 mop)

申請方法

Mpayというアプリ内で申請をし、指定された日時に合わせてカードを受け取りに行く。

通常のマカオパス⇒



学生用マカオパス⇒



4.寮について

1. 洗濯

S3はGフロアにしか乾燥機がありません。インターン生は朝からオフィスに行かなければならないのと、夕方は洗濯機を使う人が多いので、朝洗濯をすく\ることをお勧めします！

また、各階に洗濯機は1台あるのですが、朝の10時～夜の10時までしか使えません。なので、夜の9時30分以降に洗濯を回してしまうと、脱水の途中で電源が落とされてしまいます。各階の洗濯機を使う際はタイミングを注意してください！

2. 共有キッチン

①各階に共有キッチンがあるのですが、狭くてきれいとは言えません！料理をしたあとに吹くことができるペーパーか、布巾を常に持参することをおすすめします！また、Gフロアの受付の人にキッチンペーパーを置くようお願いしてみてもいいかもしれません。また、共有キッチンには換気扇がないため、煙がでやすいです。煙感知器がすぐに反応してしまうので注意しましょう。（煙感知器を3回鳴らしてしまうと退寮になってしまいます）

②月に一回共有キッチンの大掃除を掃除のスタッフが行います。その際に自分のキッチン用品は一旦すべて回収し、部屋に置きましょう。Wechatグループでアナウンスがありますが、気づかないことが多いため、回収し忘れた場合、お皿やIHなどすべて回収されてしまいます。

3. ルームキー

ルームキーを部屋に忘れてうちカギをしてしまうと、2回目からお金を払わなければいけません。（10パタカ）

5.生活面について

1. バス

S3の前にバス停があるので、そこからバスに乗り、大学の外へ出ることができます。手前のバス停はターミナル行きなので、間違えないようにしましょう。S3から見て、真ん中と1番奥のバス停はTo tunnelという看板があるので、大学の外に出たい場合はそのバス停を利用しましょう。S3の前のバス停からは71.72.73.73S. N6のバスがあります。

72、N6（夜専用）⇒タイパ島

71、73、73S⇒マカオ半島

バスのアプリ⇒



2. ご飯

S3には食堂がないので、基本的に自炊か、他の寮の食堂、S8のフードコート、E6のネクストキッチン、図書館の隣のカフェ、N21のレストラン（少し高め）、N2のカフェ（高め）で食べることになると思います。各寮は毎月メニューが変わるので大学のアプリでメニューをチェックして食べることをおすすめします！学割もあるので、学生カードをきちんと提示して割引があるかどうか聞くことをお勧めします！

大学のアプリ⇒



3. 買い物

基本的に食材や生活用品は大学内のスーパーでも買うことができます（S8の3階）。また、72のバスに乗ってタイパ島のGarden of Flower city（花城公園）で降りてSan-miuやParkunShop（百佳）、来来で買い物をします。中国本土に行くことができるなら、中国本土で買い物をする方が安いのでそちらをお勧めします！

6. インターンの仕事について

1. 勤務時間

9:00～17:00(夜中に事務所で仕事をしないこと)

2. 日本語学科における実習内容

- 1) 補助金支給の条件である1週間あたり15時間程度は、日本語学科の業務に従事する。(準備の時間や事務作業は含まれない)
- 2) 1学期あたり6コマ以上の授業を担当し、実施する。
(詳細は指導教官から説明)

＜仕事の流れ＞

授業見学→教材研究→教案と教材の作成(自分で考える)→授業
→テストの採点、提出物の添削→、授業報告書の作成、提出

3) 課外活動の実施

- ①おしゃべり広場
…会話レベル向上を目的とし、テーマを決めて話し合う。
- ②ふれあい広場
…日本文化の体験、異文化交流を目的とし、活動する。
- ③ニュースレター作成
…①、②の活動を写真や学生のコメントとともに紹介する。
- ④夏休みの事前研修
…KAPICに参加する学生が日本へ行くのに必要な準備をする。(ロールプレイ授業)
- ⑤イベントの手伝い
…国際シンポジウム、Language & Culture Dayなどのイベントがあれば、必要に応じて手伝う。

3. 注意点

- 1) 学生ではないので、教師としての自覚を持ち仕事に従事すること。
- 2) 夏休みなどの授業がない期間も補助金が支給されるので、一時帰国する場合は、一か月丸々マカオを離れることがないようにすること。



あくまで2024年時点の情報
なので、詳しくは担当の先
生方の指示に従ってね！

4. ポスターの見本

10月 わくわく

ふれあい広場

10/9
沖縄文化体験
沖縄の文化を体験
してみよう！
対象者：2,3,4年生

10/16
水引
日本の伝統的な飾り紐、
「水引」を作ってみよう
対象者：2,3,4年生

10/30
空手
実際に空手の型を
やってみよう！
対象者：全学年

当日は、これをつくるよ！

📍 場所：E21-1036 🕒 時間：14時～15時

ふれあい広場、おしゃべり広場のポスターはテーマ、日時、場所、定員をしっかり記入！予定調整アプリ、「調整さん」を使って参加者を把握しよう！

6. パソコンの使い方

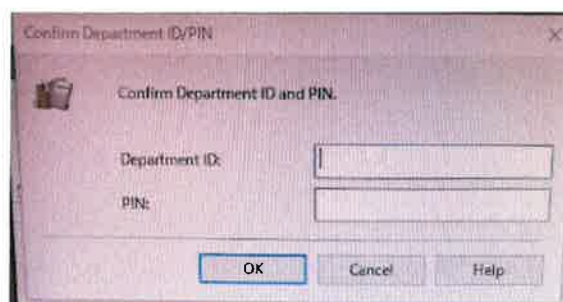
1) 電源

⇒電源をつけて、ロック解除(ctrl, alt, deleteを同時に押す)、エンターキーを押す。

2) コピー

⇒FAH-3109-P1Cを選択し、印刷ボタンをクリックする。
その後にパスワード入力画面が表示されるので、
自分の学籍番号を2回入力する。(アルファベットは小文字)

例) Department ID: 303702
PIN: 303702



3) スキャン

⇒コニーさんにメールアドレスをコピー機に登録してもらい、
スキャンをする際に自分のメールアドレス宛に送る。

※おしゃべり、ふれあい広場の活動報告書、ラミネート表、ネームプレートなどのフォーマットも事務所のパソコンに入っているよ！